

平成22年版

# 消防年報



伊丹市マスコット たみまる

兵庫県  
伊丹市消防局  
平成23年刊行

# はじめに

この年報は、平成22年における伊丹市消防の主な消防事情について収録し、今後の消防行政の参考に資するとともに、消防の現況を紹介するため編集したものです。

内容は、消防情勢、予防統計、火災統計、救急統計、救助統計、その他の統計及び消防団の構成とし、原則として会計年度をもって表し、火災・救急・救助統計等は暦年で作成しております。

皆様方にご高覧いただき、消防行政に対するご理解を深めていただく一助になれば幸いと存じます。

平成23年7月

伊丹市消防局長 上原 登

# 伊丹消防の歌

作詞 竹本 太留  
作曲 竹本 里子  
編曲 竹添 素紀

じん め い きゅう じょ だい い ち と し む ん の し ん ら い  
む ね に ひ め き ょ う ど の い の ー ち ま も る た  
め ぼう さ い く ん れ ん あ せ な が す い た み ー し ょ う ぼ  
ー こ こ に あ り

## 伊丹消防の歌

一

人命救助第一と  
市民の信頼胸に秘め  
郷土の生命いのちを守るため  
防災訓練汗流す  
伊丹消防ここにあり

二

豊かな自然守るため  
とつさにひらめく行動は  
大きな火災にならぬよう  
素早い出動モットーに  
伊丹消防ここにあり

三

熱風吹けど火の中へ  
消火活動いち早し  
未来の伊丹守るため  
防災対策昼も夜も  
伊丹消防ここにあり

# 目 次

・伊丹市のあらし	1	・兵庫県災害対応総合情報	
・伊丹市の位置及び地勢	1	ネットワークシステムの概要	30
・管内情勢と消防現況	1	・兵庫県災害対応総合情報	
・伊丹市消防のあゆみ	2	ネットワークシステム構成図	30
・消防局及び署所等の配置状況	9	・有線施設の現況	31
・消防相互応援協定等	10	・無線局の現況	31
		・消防無線呼出名称等一覧	32
		・月別気象状況	34
		・気象情報等発令状況	35
<b>消防情勢</b>			
・消防組織図	13		
・事務分掌	14	<b>予防統計</b>	
・一般会計予算と消防予算の割合	15	・予防概要	37
・消防予算に対する負担等	15	・予防願届処理状況	37
・消防職員配置状況	16	・防火対象物査察状況	38
・消防職員数の推移状況	16	・対象物用途別同意等状況	39
・消防職員階級別年齢構成	17	・用途別中高層建築物棟数（4階以上）	40
・消防職員階級別勤続年数	17	・防火管理者資格講習会実施状況	41
・消防力の整備指針と現有消防力の比較	18	・広報活動状況	41
・消防車両配置状況	19	・幼年消防クラブの結成状況	41
・消防車両性能現況	20	・幼年消防クラブの活動状況	42
・消防用機械・器具保有状況	22	・自主防災組織の結成状況	43
・消防職員教養状況	24	・小学校区別自主防災組織結成地域の世帯数	47
・消防職員特殊技能資格取得状況	25	・自主防災組織の活動状況	47
・消防水利の現況	26	・製造所等区分別完成施設数	48
・消火薬剤現有状況	26	・許可施設数の推移（過去10年）	48
・通信・指令の概要	27	・防火地域別許可施設数	49
・119番等の受信状況	27	・危険物施設査察状況	49
・消防指令管制システムの概要	28	・県移譲事務処理状況	49
・119番通報受付から活動終了までの流れ	28	・用途地域別許可施設数	50
・消防指令管制システム系統図	29	・事務処理状況	51

・危険物関係手数料	51
-----------	----

・事故種別傷病程度別状況	66
--------------	----

・過去10年間の救助出動状況	66
----------------	----

## 火災統計

・火災概要	53
-------	----

・原因別・覚知別等火災発生状況	54
-----------------	----

・用途別火災発生状況	55
------------	----

・発火源・経過・着火物別火災発生状況	56
--------------------	----

・過去10年間の火災発生状況	57
----------------	----

・過去10年間の火災原因別発生状況	57
-------------------	----

・過去10年間の主な火災発生状況	58
------------------	----

## その他の統計

・過去10年間の災害等活動状況	67
-----------------	----

・科目別・月別病院問い合わせ状況	68
------------------	----

・科目別・曜日別病院問い合わせ状況	68
-------------------	----

・科目別・時間別病院問い合わせ状況	69
-------------------	----

## 消防団

・伊丹市消防団のあゆみ	71
-------------	----

・消防団の概要	73
---------	----

・消防団の組織と現況	73
------------	----

・階級別年齢構成	74
----------	----

・階級別在職年数	74
----------	----

・分団別等車両保有状況	75
-------------	----

・消防団の活動状況	75
-----------	----

## 救急統計

・救急概要	59
-------	----

・署所別出動状況	59
----------	----

・曜日・覚知別救急出動状況	60
---------------	----

・年齢別搬送状況	60
----------	----

・傷病程度別搬送状況	61
------------	----

・時間別救急出動状況	61
------------	----

・科目別搬送状況	62
----------	----

・収容医療機関別搬送人員	62
--------------	----

・救急隊員の行った応急処置状況	63
-----------------	----

・救急講習会実施状況(過去5年間)	64
-------------------	----

・過去10年間の救急出動状況	64
----------------	----

## 救助統計

・救助概要	65
-------	----

・事故種別救助出動状況	65
-------------	----

・事故種別救助人員状況	65
-------------	----

## 伊丹市のあらまし

伊丹の歴史は古く、遺跡や出土品から縄文時代中期には既に人々が生活していたことが知られています。

奈良時代には、名僧・行基が仏教の布教に訪れ、昆陽池や昆陽施院を作るなど社会事業を行いました。

平安時代の伊丹は、源満仲の統治下にありましたが、やがて伊丹姓を名乗る武士団が支配しました。わが国最初の天守閣を備えたといわれる伊丹城が築かれたのもこの時代です。

天正2年(1574年)、伊丹氏に代わって荒木村重が伊丹城主となり、城名も有岡城と改めました。しかし、その有岡城も天正6年(1578年)、村重が織田信長に叛き、羽柴秀吉らにより攻められ落城という運命をたどりしました。

江戸時代に治政にあたった近衛家が産業の振興に力を注ぎ、とくに酒造業は全国的に名声を博しました。また、俳人・上島鬼貫を出すなど文化の華が開きました。

明治に入り、廃藩置県によって兵庫県に編入され、明治22年(1889年)町村制施行により、伊丹町・稲野村・神津村・長尾村の4町村にまとめられました。明治24年(1891年)に川辺馬車鉄道(現JR福知山線)が開通、また大正9年には阪急伊丹線が開通し、産業経済が進展するとともに、大都市近郊住宅地として発展してきました。

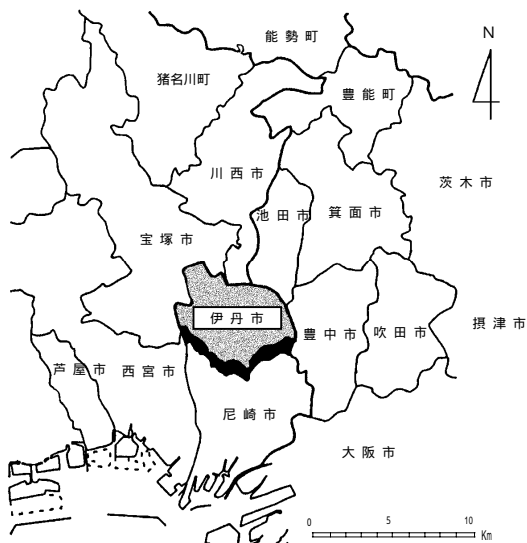
昭和15年11月(1940年)、伊丹町と稲野村とが合併し伊丹市が発足、全国で174番目の市が誕生しました。その後、昭和22年(1947年)神津村と合併、昭和30年(1955年)長尾村の一部を編入して、現在に至っています。

## 伊丹市の位置及び地勢

伊丹市は、兵庫県の南東部に位置し、大阪市から約10km、神戸市から約20kmの圏域に、面積25.09km<sup>2</sup>の市域を有しています。

交通は、JR福知山線と阪急伊丹線、また市中央部を国道171号が横断しさらには、大阪国際空港(伊丹空港)のあるまちとして、知られています。

地勢は、北部の伊丹台地から南部の武庫平野へとゆるやかな傾斜をもって広がり、また市の東側には猪名川、西側には武庫川が流れ気象は一般に年間を通じて温暖で降水量が少ないという瀬戸内気候を示しています。



## 管内情勢と消防現況

(H23.4.1 現在)

種別 \ 区分	消防職員1人に対して (196人)	消防署所1に対して (6ヶ所)	消防ポンプ車1台に対して (12台)
面積 (25.09 km <sup>2</sup> )	0.13 km <sup>2</sup>	4.18 km <sup>2</sup>	2.09 km <sup>2</sup>
世帯数 (77,876世帯)	397 世帯	12,979 世帯	6,490 世帯
人口 (196,244人)	1001 人	32,707 人	16,354 人

## 伊丹市消防のあゆみ

- 昭 20. 7. 1 神戸市が大空襲により廃墟となり、衛星都市を守るため神戸市にあった兵庫消防署が伊丹市に移駐し、尼崎消防大隊伊丹中隊及び西宮消防大隊宝塚中隊の各管轄区域を担当し、兵庫消防署兼伊丹消防大隊と改称、市公会堂を仮庁舎として業務を開始する。
- 昭 20. 8.15 兵庫消防署兼伊丹消防大隊の名称を、兵庫消防署と改称する。
- 昭 21. 2.18 兵庫県訓令甲第72号をもって、伊丹消防署と改称する。
- 昭 22. 8. 1 伊丹市伊丹字山ノ上483に庁舎を新設、業務を開始する。
- 昭 23. 3. 7 消防組織法（法律第226号）の施行に伴い、消防組織は県から市町村に移管され、伊丹消防組合消防署（伊丹市伊丹字山ノ上483）、宝塚出張所（川辺郡小浜村字川面字中井ノ口72）の1署1出張所をもって伊丹市及び川辺郡小浜村、武庫郡良元村54.62km<sup>2</sup>を管轄区域として発足する。（定数30名、車両3台）
- 昭 27. 8. 1 伊丹市消防本部及び伊丹市消防署として独立発足する。（定数28名、車両3台）
- 昭 35. 4. 1 伊丹市伊丹字西ノ町510の1へ庁舎を移転し、業務を開始する。
- 昭 37. 3.31 消防職員定数を改正、西出張所の開設要員を14名増員し、定数46名となる。
- 昭 37. 8.10 都市の急激な発展に伴い、常備消防拡充強化計画に基づき、伊丹市昆陽字真福寺19の4に西出張所を開設する。
- 昭 37. 9. 1 救急需要の増大により、消防救急業務を開始する。
- 昭 38. 7. 3 消防職員定数を改正、東出張所開設要員及び本部要員を14名増員し、定数64名となる。
- 昭 38.10.24 大規模災害応急対策活動の相互応援に関し、尼崎・西宮・芦屋・伊丹・宝塚・川西各市及び猪名川町の6市1町の市町長協定に基づき、消防相互応援に関する覚書を交換する。
- 昭 39. 4. 1 消防職員定数を改正、北出張所開設要員、本部要員及び救急要員を15名増員し、定数79名となる。
- 昭 40. 2.13 伊丹市森本字久保4の4に東出張所を開設する。
- 昭 41. 4. 1 消防職員定数を改正、スノーケル車要員及び本部要員を15名増員し、定数94名となる。
- 昭 41. 4. 6 伊丹市鴻池字出口3の2に北出張所を開設する。
- 昭 41.10.27 消火薬剤等の相互提供に関する協定を市内28事業所と締結する。
- 昭 41.12.10 伊丹市・豊中市・池田市との間に消防相互応援協定を締結する。
- 昭 42. 4. 1 伊丹市消防本部の組織を5係から3課8係に改める。
- 昭 42. 4. 1 消防職員定数を改正、本部組織の改正に伴う要員を12名増員し、定数106名となる。
- 昭 42. 4. 1 伊丹市消防特別救助隊を設置し、運用開始する。
- 昭 43. 3. 9 航空機災害に関し、火災防ぎょ及び救急業務に対処するため大阪市と消防相互応援協定を締結する。

- 昭 43. 4. 1 西出張所を西分署に昇格する。
- 昭 43.11.16 西分署に救急車を配置し、2台運用となる。
- 昭 43. 4. 1 消防職員定数を改正、西分署要員を3名増員し、定数109名となる。
- 昭 44. 4. 1 消防職員定数を改正、救急専従要員を3名増員し、定数112名となる。
- 昭 45. 4. 1 消防職員定数を改正、南出張所開設要員を14名増員し、定数126名となる。
- 昭 45. 5. 1 伊丹市稲野町7丁目85の1に南出張所を開設する。
- 昭 46. 4. 1 消防職員定数を改正、救急専従要員、予防課要員及びはしご車要員を15名増員し、定数141名となる。
- 昭 46.12. 1 伊丹・豊中・池田各市長と大阪国際空港長との間に「大阪国際空港及びその周辺における消火救難活動に関する協定書」を、また「同協定に基づく覚書」を3市の消防長と大阪国際空港長との間にそれぞれ締結する。
- 昭 47. 4. 1 消防職員定数を改正、東西消防署設置に伴う警防要員を9名増員し、定数150名となる。
- 昭 47.12.17 伊丹市昆陽字一ツ樋9番地の2に消防本部、消防署、消防団本部併置の新庁舎が竣工し、移転業務を開始する。旧庁舎は、東分署として暫定運用する。救急車を消防署に1台、東分署に1台配置替えして、2台運用の専任体制となる。
- 昭 48. 1. 1 消防組織の機構改革により、1本部1消防署1分署3出張所を1本部2消防署4出張所に改め、名称を次のとおりとする。  
消防署は東消防署と西消防署の2署に、西分署は降格し昆陽出張所に、東出張所を神津出張所に、南出張所を稲野出張所に、北出張所を荒牧出張所にそれぞれ改称する。
- 昭 48. 2. 1 住居表示変更に伴い、消防本部の所在地「伊丹市昆陽字一ツ樋9番地の2」を「伊丹市昆陽1丁目1番地」に改める。
- 昭 48. 4. 1 消防職員定数を改正、北伊丹出張所開設要員及び通信室等要員を23名増員し、定数173名となる。
- 昭 49. 4. 1 消防職員定数を改正、警防課員等要員を5名増員し、定数178名となる。
- 昭 49. 4.26 伊丹市北園1丁目13番地に北伊丹出張所を開設する。
- 昭 49. 6.26 地番整理に伴い、消防本部の所在地「伊丹市昆陽1丁目1番地」を「伊丹市昆陽1丁目1番地の1」に改める。
- 昭 50. 3.28 住居表示変更に伴い、東消防署の所在地「伊丹市西ノ町510番地の1」を「伊丹市中央6丁目2番8号」に改める。
- 昭 50. 4. 1 伊丹市消防本部の名称を「伊丹市消防局」に改める。
- 昭 50. 4. 1 消防副士長制（昭和38年6月10日消防庁告示第4号）を採用し、5名の副士長が誕生する。
- 昭 52. 4. 1 消防本部の組織改正を行い、3課10係を3課8係に改める。  
消防署の組織を係制から隊組織に改め、警防隊及び救急救助隊を置く。
- 昭 52. 4. 1 消防職員定数を改正、行財政健全化に伴う職員定数の見直し（第1次）により、5名減員し、定数173名となる。
- 昭 53. 4. 1 消防職員定数を改正、行財政健全化に伴う職員定数の見直し（第2次）により、

- 1名減員し、定数172名となる。
- 昭 55. 4. 1 消防局の課に「主幹」「副主幹」及び「主査」を置く組織改正を行う。
- 昭 57.10. 1 救助件数の増加に備え、西消防署の救助隊を専任とし、東西両消防署に専任救助隊を設置する。
- 昭 58. 4. 1 消防職員定数を改正、行財政健全化に伴う職員定数の見直し（第3次）により、3名減員し、定数169名となる。
- 昭 59. 3.16 伊丹市北本町2丁目133番地に東消防署を移転し、業務を開始する。
- 昭 59. 4. 1 消防局に「参事」を置く組織改正を行う。
- 昭 60. 4. 1 神津出張所を伊丹市森本2丁目142番地の1へ、昆陽出張所を伊丹市池尻3丁目55番地へ移転し、業務を開始する。これに伴い昆陽出張所の名称を池尻出張所と改称する。
- 昭 60.12.21 稲野出張所を伊丹市南野字小豆領969番地の4へ移転し、業務を開始する。これに伴い稲野出張所の名称を南野出張所と改称する。
- 昭 60.12.21 署所の移転配置に伴い、消防署の管轄区域並びに署及び出張所の担当区域を変更する。
- 昭 61.11. 1 消防局に消防音楽隊を設置し、隊長以下22名で発足する。
- 昭 62. 3.27 荒牧出張所の改築工事が終了し、仮庁舎（北野1丁目13番地伊丹市共同利用施設北センター）から移転し、業務を開始する。
- 昭 62. 4. 1 従来、市環境部交通安全課で所掌していた防災業務の移管を受け、これに伴い消防局の組織を改正し、「警防課」を「消防防災課」に、「消防第1係」を「消防係」に、「消防第2係」を「防災係」に改称し、「防災係」で事務を開始する。
- 昭 62. 8.12 大阪府下、兵庫県下の12市2組合消防の市長等との間に「大阪国際空港周辺都市航空機災害消防相互応援協定」を、また「同協定に基づく覚書」を14消防長との間にそれぞれ締結する。
- 昭 63. 4. 1 消防緊急情報システムが完成し、運用開始する。
- 昭 63. 4. 1 従来、市下水道部総務課で所掌していた水防事務の移管を受け、消防局消防防災課で業務を開始する。
- 昭 63. 8. 1 大規模災害等に対処するため、兵庫県下34市町等との間に「兵庫県広域消防相互応援協定」を、また「同協定に基づく覚書」を締結する。
- 平 元. 4. 1 「伊丹市行財政運営改善計画」に基づき、基幹サービスの見直しから北伊丹出張所を廃止し、東消防署に統合する。これに伴い署及び出張所の担当区域を変更する。荒牧出張所で救急業務を開始し、3台運用の専任体制となる。
- 平 2.12.13 消防局に水難救助隊を設置し、6名の隊員編成で発足する。
- 平 3. 6. 1 伊丹市の休日を定める条例（平成3年条例第1号）の制定により、第二・第四土曜日を休日とする4週6休制を実施する。
- 平 4. 3.16 救急車3台に自動車電話を配置し、救急業務の円滑化を図る。
- 平 4. 1.13 火災予防等広報活動に運用するため、ダイハツ工業株式会社の協力により、ミニ消防自動車（119ちゃん）を制作する。
- 平 4. 4. 1 消防局の組織改正を行い、消防情報の統括管理を行うため「情報管理課」を

- 新設し、従来の「通信隊」を「情報管理隊」に改称する。また総務課に「企画教養係」、消防防災課に「救急救助係」を新たに設置する。この改正により3課8係が4課10係となる。
- 平 4. 4. 1 尼崎市消防局との人事交流を実施し、副主幹級職員の相互派遣を行う。
- 平 5. 1. 1 特殊勤務手当の支給に関する規則の一部が改正され、支給内容の見直しと支給額が改正される。
- 平 5. 3. 5 伊丹市消防発足40周年を記念し、「防災講演&消防のつどい」を伊丹アイフォニックホールで開催する。
- 平 5. 4. 1 消防職員定数条例を改正、警防要員等12名増員し、定数181名となる。
- 平 5. 4. 1 兵庫衛星通信ネットワークシステムを設置し、運用開始する。
- 平 5. 5.14 伊丹市の救急救命士第1号が誕生する。
- 平 5. 6. 1 伊丹市の休日を定める条例（平成5年条例第5号）の制定により、土曜日を休日とする完全週休2日制を実施する。
- 平 6. 1.13 西消防署に配置の救急車を「高規格」（1台目）に更新して、運用開始する。
- 平 6. 1.19 救急救命士の特定行為に係る具体的指示を受ける医療機関と協定を結び、特定行為実施体制を確立する。
- 平 6. 4. 1 消防局の組織改正を行い、組織の業務を効率的に処理するためグループ制を採用するとともに、消防署に、統括司令・警防司令・救急司令を置く。
- 平 6. 9. 7 局地的集中豪雨襲来。災害救助法が適用される。
- 平 6.12. 1 東消防署に配置の救急車を「高規格」（2台目）に更新して、運用開始する。
- 平 7. 1.17 兵庫県南部地震（阪神・淡路大震災）が発生する。災害救助法が適用される。（震源 淡路島北部 マグニチュード 7.2）
- 平 7. 3.11 計測震度計を消防局に設置（大阪管区气象台）し、運用開始する。
- 平 7. 4. 1 水防事務を市下水道部に移管する。
- 平 7. 9. 5 全国消防長会において、大規模災害等消防応援を確立するため「全国緊急消防援助隊」が発足（平成7年6月30日）したことにより、伊丹市消防局から3隊（救急隊・救助隊・消火隊）を登録する。
- 平 7.11. 6 住居表示変更に伴い、南野出張所の所在地「伊丹市南野字小豆領969番地の4」を「伊丹市南鈴原2丁目1番地」に改める。
- 平 8. 2.29 兵庫県南部地震で被害のあった消防局庁舎の外壁・内壁（亀裂）、給水施設等（破損）、気象観測装置等の改修（復旧）工事が完了する。
- 平 8. 3.31 消防音楽隊を解散する。
- 平 8. 4. 1 防災業務を市企画部に移管する。この事務移管に伴い、消防局の組織を改正し、「消防防災課」及び「情報管理課」を統合し、「警防課」に改称する。
- 平 8. 9. 1 兵庫県消防防災航空隊の設立に伴い、航空隊員として職員1名を兵庫県に派遣する。
- 平 8. 9.24 兵庫県災害対応総合情報ネットワークシステムを設置し、運用開始する。
- 平 8.10. 1 消防組織法の改正に伴い、消防局の内部組織として「伊丹市消防職員委員会」を設置する。
- 平 8.11.30 兵庫県災害ネットワーク広域医療システムを設置し、運用開始する。

- 平 9. 4. 1 伊丹市防災行政無線局の設置に伴い、統制局の遠隔制御装置等を消防局に設置し、運用開始する。
- 平 9. 4. 1 伊丹コミュニティ放送局の開局に伴い、緊急放送用割込み装置を設置し、運用開始する。
- 平 9. 4. 1 消防職員任用規程を改正し、副主査・副隊長制度を導入する。
- 平 9. 7. 1 「伊丹市消防吏員（消防士）募集要項」から性別条項を見直して、女性に門戸を開ける。
- 平 9.12.20 大規模災害に対応していくため、西消防署に配置の救助工作車を「型」に更新して、運用開始する。
- 平 10. 2.26 西消防署荒牧出張所に配置の救急車を「高規格」（3台目）に更新して、運用開始する。  
高規格救急車3台稼働による運用体制をとる。
- 平 10. 3.31 防災拠点施設の整備の一環として、局庁舎耐震補強工事を完了する。  
併せて、正面玄関・受付・身障者トイレ・女子トイレ・情報管理隊仮眠室等を改築する。
- 平 10. 4. 1 女性消防吏員2名を採用する。
- 平 10. 4. 1 兵庫県下ブロック分割による携帯電話・自動車電話等からの119番受信を開始する。
- 平 10. 4. 2 「阪神高速道路における消防及び救急の業務に関する協定書」を阪神高速道路公団と締結する。
- 平 11. 3. 1 市役所地下1階に計測震度計が設置されたことにより、消防局設置の計測震度計を撤去する。
- 平 11. 4. 1 新消防緊急通信指令システムが完成し、運用開始する。
- 平 11.10. 1 女性警防隊員、女性救急隊員各2名を西消防署に配属（交替制勤務）する。
- 平 12. 4. 1 消防局の組織改正を行い、警防課に情報管理司令を置く。
- 平 13. 3.15 伊丹市・宝塚市・川西市各市長及び猪名川町長との間に「伊丹市・宝塚市・川西市・猪名川町消防相互応援協定書」を、また同協定書に基づく覚書を3市1町の消防長との間にそれぞれ締結する。
- 平 13. 4. 1 消防局の組織改正を行い、消防局に情報管理担当主幹、警防課に救急救助グループを置く。  
消防吏員服制基準の改正に伴い、新基準服制を年次計画で導入する。
- 平 13. 4. 1 消防局庁舎に非常電源として自家発電設備（ガスタービン発電機 250KVA）を設置する。
- 平 13. 8.31 消防業務の実務研修のため、伊丹市・宝塚市・川西市の消防長との間に「消防業務の実務研修協定書」をそれぞれ締結する。
- 平 13.10. 1 宝塚市・川西市両消防本部と消防業務の実務研修のため職員交流を実施し、主任級職員の相互派遣を行う。
- 平 14. 4. 1 消防職員定数条例を改正、救急要員を8名増員し、定数189名となる。
- 平 14. 4. 1 消防局の組織改正を行い、警防課所掌事務のうち、情報管理隊に属する事務等を分離し、新たに「情報管理課」を設置する。

- 平 14. 4. 1 消防局訓練場を荻野 8 丁目に移転する。
- 平 14. 4. 1 緊急消防援助隊に消火隊 1 隊を追加登録する。
- 平 14. 8. 6 伊丹市消防発足 5 0 周年記念式典を伊丹アイフォニックホールにて開催する。
- 平 14.10. 1 宝塚市・猪名川町両消防本部と消防業務の実務研修のため職員交流を実施し、主任級職員の相互派遣を行う。
- 平 15. 4. 1 消防局の組織改正を行い、東消防署に予防担当主幹及び救急司令を置く。
- 平 15. 4. 1 南野救急隊要員 8 名を採用する。
- 平 15. 4. 1 救急救命士法施行規則の改正により、包括的指示下での除細動を開始する。
- 平 15.10. 1 川西市・猪名川町両消防本部と消防業務の実務研修のため、職員交流を実施し、主任級職員の相互派遣を行う。
- 平 15.10. 1 東消防署南野出張所に女性救急隊員 2 名を配属する。
- 平 15.10.10 東消防署南野出張所を増築し、高規格救急車（4 台目）を配置して、救急業務を開始する。
- 平 16. 3.24 東消防署に配置のはしご車を 4 0 メートル級に更新し、運用を開始する。
- 平 16. 4. 1 緊急消防援助隊に関する法令等の改正に伴い、消火隊 2 隊・救助隊 1 隊・救急隊 1 隊・特殊装備隊 1 隊を新規登録する。
- 平 16. 7. 1 救急救命士の処置範囲拡大に伴い、気管挿管認定救急救命士が乗務する。
- 平 16. 7.18 福井豪雨災害に緊急消防援助隊（消火隊 1 隊・救急隊 1 隊）2 隊 9 名を派遣する。
- 平 16.10. 1 宝塚市・川西市両消防本部と消防業務の実務研修のため、職員交流を実施し、主任級職員の相互派遣を行う。
- 平 16.10.15 I P 電話回線からの 1 1 9 番通報受付を開始する。
- 平 16.10.21 兵庫県広域消防相互応援協定に基づき、台風 2 3 号水害（豊岡市）へ応援隊を派遣する。3 台 1 4 名（指揮車・救助工作車・貨物車ボート搬送）
- 平 17. 4. 1 兵庫県消防防災航空隊に航空隊員として職員 1 名（救急救命士）を派遣する。
- 平 17. 4.25 兵庫県広域消防相互応援協定に基づき、尼崎市 J R 福知山線列車事故に応援隊を派遣する。車輜（指揮車・救助工作車・救急車）合計 8 台 2 7 名
- 平 17.11.15 携帯電話からの 1 1 9 番通報を直接受信できる体制となり運用を開始する。
- 平 18. 4. 1 救急救命士の処置範囲拡大に伴い、薬剤投与認定救急救命士が乗務する。
- 平 18. 4. 1 消防職員定数条例を改正、警防要員を 1 1 名増員し、定数 2 0 0 名となる。
- 平 18. 4. 1 緊急消防援助隊に消火隊 2 隊・救助隊 1 隊・救急隊 1 隊・特殊装備隊 1 隊・後方支援隊 1 隊を更新登録する。
- 平 18.12. 1 東消防署を増築し、女性消防吏員の施設整備を行う。
- 平 19. 3.28 ミニ消防自動車（1 1 9 ちゃん）を住友電気工業株式会社の協力により更新する。
- 平 19. 4. 1 緊急消防援助隊に消火隊 2 隊・救助隊 1 隊・救急隊 1 隊・特殊装備隊 1 隊を更新登録する。
- 平 20. 4. 1 消防職員再任用制度を運用開始し、1 3 名を再任用する。
- 平 20. 4. 1 緊急消防援助隊に消火隊 2 隊・救助隊 1 隊・救急隊 1 隊・特殊装備隊 1 隊・後方支援隊 1 隊を更新登録する。

- 平 20. 9.22 尼崎市との消防指令事務共同運用に係る「尼崎市・伊丹市消防指令事務協議会規約」が議決される。
- 平 22. 3.29 消防多目的車を消防ポンプ自動車に更新整備し、消防力の整備指針に基づく基準台数9台を充足する。
- 平 22. 4. 1 緊急消防援助隊に消火隊2隊、救助隊1隊、救急隊2隊、特殊装備隊1隊、後方支援隊1隊を更新登録する。
- 平 23. 3.11 東日本大震災が発生。消防庁長官の指示により、緊急消防援助隊（消火隊8隊、救助隊2隊、後方支援隊7隊）合計17隊55名を宮城県へ派遣する。
- 平 23. 4. 1 日本赤十字社兵庫県支部（兵庫県災害医療センター）へ職員1名（救急救命士）を派遣する。
- 平 23. 4. 1 尼崎市・伊丹市消防指令センターを整備し、尼崎市と消防指令事務の共同運用を開始する。
- 平 23. 4. 1 「尼崎市・伊丹市消防相互応援協定」を尼崎市と締結する。
- 平 23. 4. 1 緊急消防援助隊に消火隊2隊、救助隊1隊、救急隊2隊、特殊装備隊1隊、後方支援隊1隊を更新登録する。

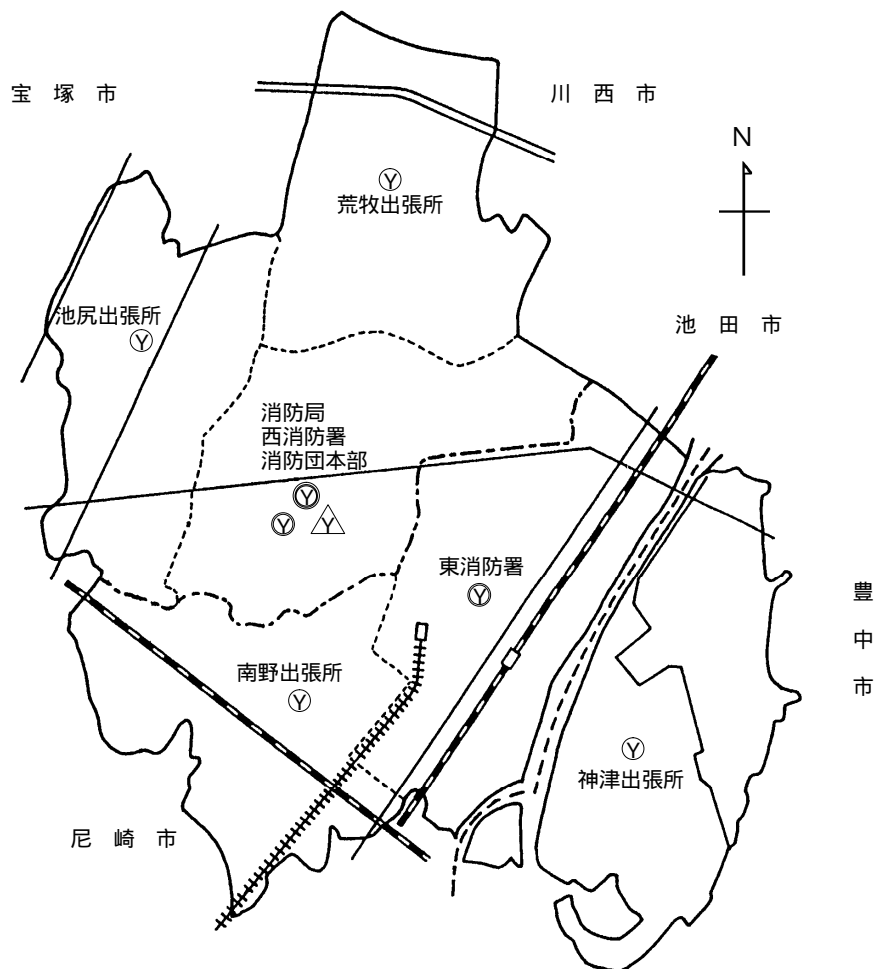
## 消防局及び署所等の配置状況

名 称	所 在 地	電話番号	構 造	竣工年月日	延面積(m <sup>2</sup> )	
消 防 局	昆陽 1 丁目 1 番地の 1	783-0123 代	R C 造 3 階建	昭 47.11.10	2,304.90	
東消防署	本 署	北本町 2 丁目 133 番地	772-0119 代	R C 造一部 S 造 3 階建	昭 59. 3.15	880.92
	神津出張所	森本 2 丁目 142 番地の 1	773-0119	R C 造平屋建	昭 60. 3.30	207.88
	南野出張所	南鈴原 2 丁目 1 番地	784-0119	R C 造一部 S 造 2 階建	昭 60.12.21	307.92
西消防署	本 署	消防局庁舎に併置	783-0124			
	池尻出張所	池尻 3 丁目 5 5 番地	778-0119	R C 造平屋建	昭 60. 3.30	209.38
	荒牧出張所	北野 1 丁目 9 番地	781-0119	R C 造 2 階建	昭 62. 3.27	319.50
消防団本部	消防局庁舎に併置	783-0123 代				

尼崎市・伊丹市消防指令センター	尼崎市昭和通 2 - 6 - 7 5 (尼崎市防災センター 5 階)
-----------------	------------------------------------

管 轄 面 積 注 H23.4.1 現在	
東消防署 13.53 km <sup>2</sup>	本 署 (4.65 km <sup>2</sup> )
	神津出張所 (5.03 km <sup>2</sup> )
	南野出張所 (3.85 km <sup>2</sup> )
西消防署 11.56 km <sup>2</sup>	本 署 (4.06 km <sup>2</sup> )
	池尻出張所 (3.90 km <sup>2</sup> )
	荒牧出張所 (3.60 km <sup>2</sup> )
計	25.09 km <sup>2</sup>

凡 例	
⊙	消 防 局
⊙	消 防 署
⊙	消防出張所
△	消防団本部
---	管轄区境界線
---	担当区域線
—	幹線道路



## 消防相互応援協定等

名 前	締結年月日	協 定 先
豊中市・伊丹市消防相互応援協定	S 4 1 . 1 2 . 1 0	伊 丹 市 豊 中 市
池田市・伊丹市消防相互応援協定	S 4 1 . 1 2 . 1 0	伊 丹 市 池 田 市
大阪市・伊丹市消防相互応援協定	S 4 3 . 3 . 9	伊 丹 市 大 阪 市
災害応急対策活動の相互応援に関する協定	H 9 . 1 1 . 1	尼 崎 市 西 宮 市 芦 屋 市 伊 丹 市 宝 塚 市 川 西 市 三 田 市 猪 名 川 町
大阪国際空港及びその周辺における消火救難活動に関する協定	S 4 6 . 1 2 . 1	大阪国際空港事務所 伊 丹 市 豊 中 市 池 田 市
中国縦貫自動車道茨木・宝塚インターチェンジ間における消防相互応援に関する協定	S 5 4 . 6 . 7	茨 木 市 吹 田 市 豊 中 市 池 田 市 川 西 市 伊 丹 市 宝 塚 市
ガス漏れ事故等による災害防止対策に関する申し合せ	S 5 6 . 1 2 . 2 2	伊丹市消防局 兵庫県伊丹警察署 大阪瓦斯（株）阪神支社 関西電力（株）尼崎営業所 関西電力（株）西宮営業所
大阪国際空港周辺都市航空機災害消防相互応援協定	S 6 2 . 8 . 1 2	大 阪 市 堺 市 豊 中 市 東 大 阪 市 池 田 市 吹 田 市 八 尾 市 松 原 市 柏原羽曳野藤井寺消防組合 尼 崎 市 西 宮 市 伊 丹 市 宝 塚 市 川 西 市
中国自動車道のうち兵庫県の区域における消防相互応援協定	H 2 3 . 2 . 2 3	川 西 市 伊 丹 市 宝 塚 市 西 宮 市 三 田 市 神 戸 市 三 木 市 加 東 市 加 西 市 姫 路 市 佐 用 町

### 消防相互応援協定等

名 前	締結年月日	協 定 先
兵庫県広域消防相互応援協定	H19. 6.29	兵庫県下の市町、消防の一部 事務組合及び消防を含む一部 事務組合
阪神高速道路における消防及び救急等の業務に関する 協定書	H17.10. 1	伊丹市消防局 阪神高速道路株式会社
伊丹市・宝塚市・川西市・猪名川町消防相互応援協定	H13. 3.15	伊 丹 市 宝 塚 市 川 西 市 猪 名 川 町
鉄道事故時の安全対策に関する覚書	H15. 2.28	全国消防長会近畿支部長 西日本旅客鉄道株式会社 近畿日本鉄道株式会社 阪急電鉄株式会社 京阪電気鉄道株式会社 南海電気鉄道株式会社 阪神電気鉄道株式会社 山陽電機鉄道株式会社 神戸電鉄株式会社 大阪市消防局
尼崎市・伊丹市消防相互応援協定	H23. 4. 1	尼 崎 市 伊 丹 市



# 消防情勢

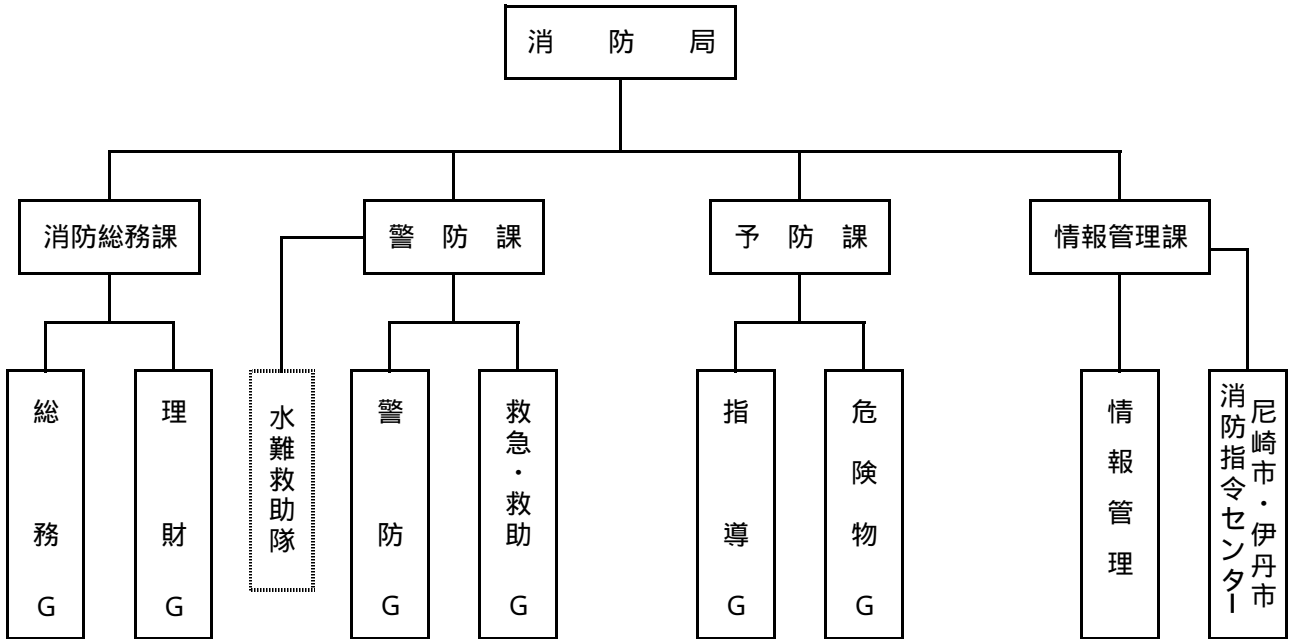


## 消防組織図

( H23.4.1現在 )

平成 23 年 4 月 1 日現在の消防組織は、1 本部 ( 4 課 ) 2 署 4 出張所があり、署所の第 1 線に二部制で警防隊 6 隊、救助隊 2 隊、救急隊 4 隊を配備し、市民の安全を確保しています。

### 消防本部の組織

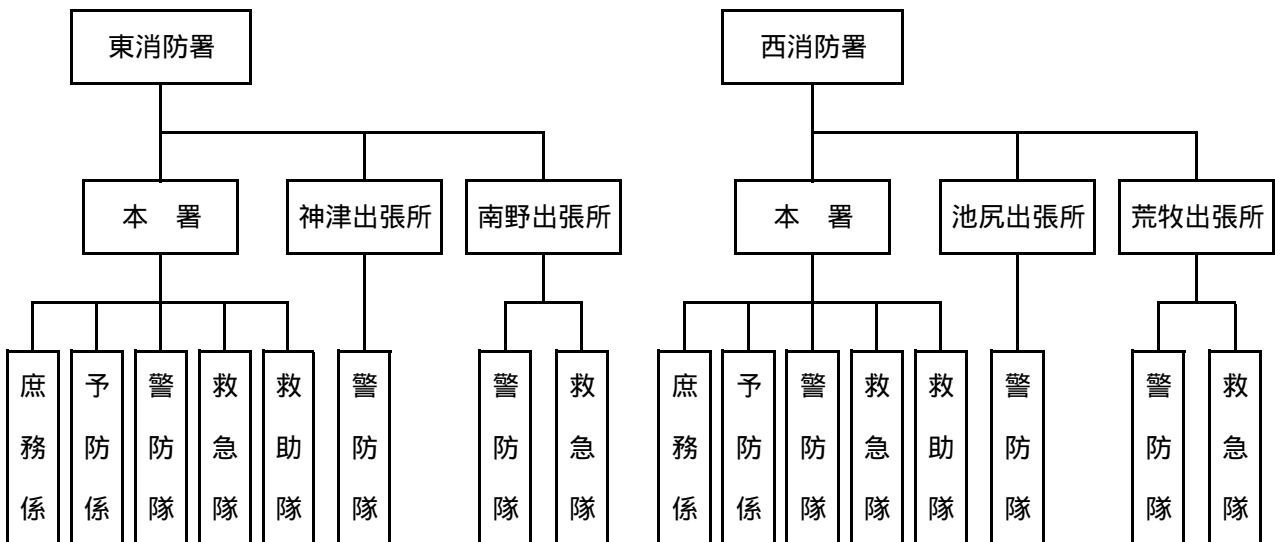


水難救助隊は本部に付置した組織 ( 隊員はすべて併任 )

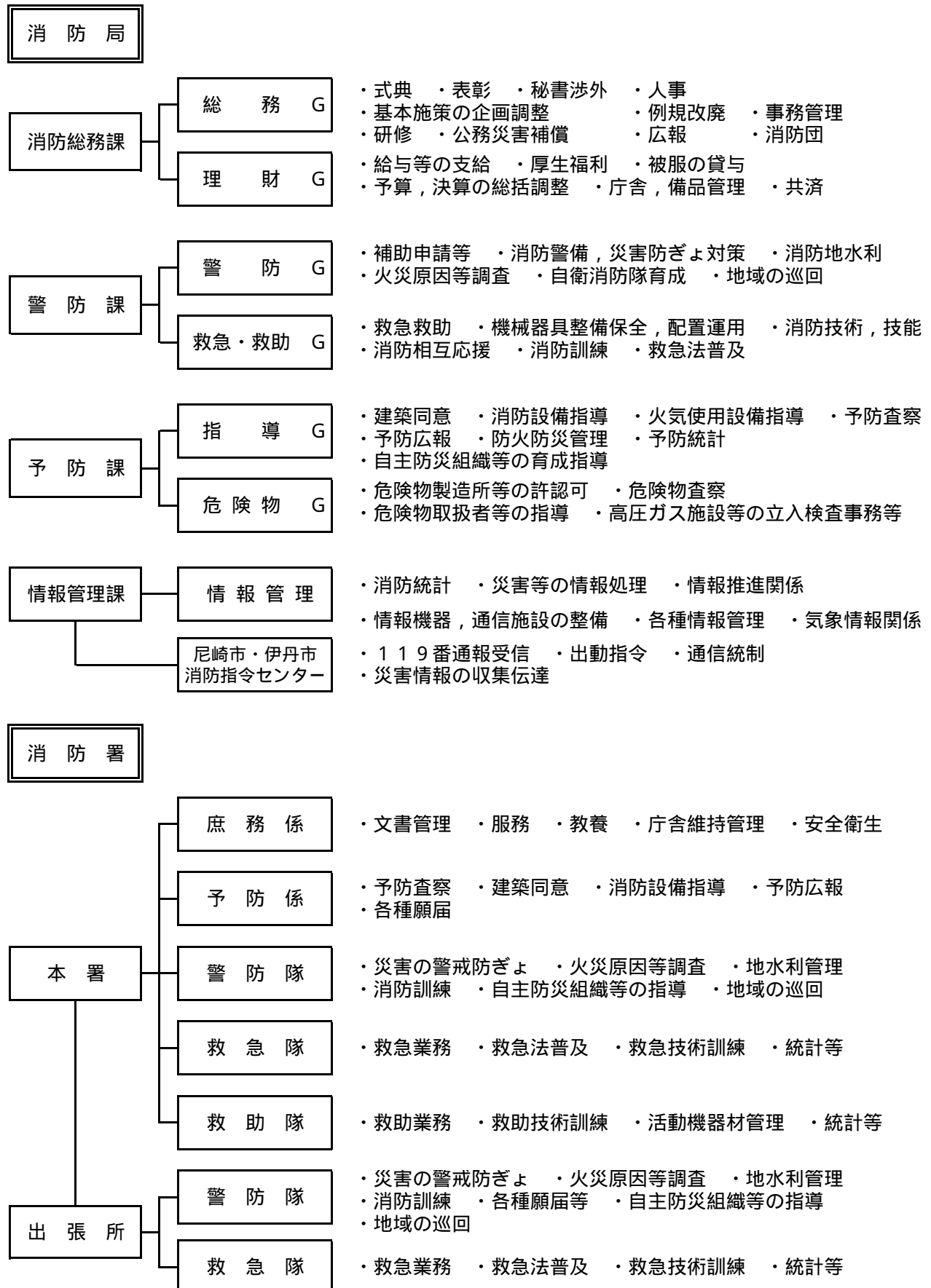
消防局組織の課はグループ制 ( G ) を採用 ( 情報管理課除く )

消防指令センターは尼崎市防災センター内に設置 ( 尼崎市・伊丹市共同運用 )

### 消防署の組織



## 事務分掌



## 一般会計予算と消防予算の割合

(単位：千円)

	区 分	一般会計 ( A )	消防費 ( B )	比率 ( $\frac{B}{A} \times 100$ ) ( % )
平成 19 年度	当 初	58,900,000	2,341,157	4.0
	決 算	59,868,972	2,353,154	3.9
平成 20 年度	当 初	59,640,000	2,269,437	3.8
	決 算	60,191,018	2,249,805	3.7
平成 21 年度	当 初	54,700,000	1,907,741	3.5
	決 算	64,638,350	1,933,499	3.0
平成 22 年度	当 初	58,500,000	2,263,141	3.9
平成 23 年度	当 初	62,230,000	1,825,381	2.9

## 消防予算に対する負担等

年度別	種 別	消防予算 (常備消防費) (単位：千円)	市民負担額 (単位：円)	
			1人当たり	1世帯当たり
平成 19 年度		2,095,006	10,845	28,181
平成 20 年度		2,154,090	11,084	28,555
平成 21 年度		1,758,219	9,010	22,991
平成 22 年度		1,676,869	8,564	21,680
平成 23 年度		1,689,856	8,611	21,699

各年度 4 月 1 日現在の推計人口で計算

H23.4.1 推計人口 196,244 人 世帯数 77,876 世帯

## 消防職員配置状況

(H23. 4. 1現在)

階級別		実	消	消	消	消	消	消	消	消	事
所属等		員	防	防	防	防	防	防	防	防	務
総		数	正	監	司	司	司	士	副	士	職
			監	監	令	令	令	長	士	長	員
総		196		1	9	16	44	59	2	65	
消 防 局	局 長	1		1							
	次 長	1			1						
	消 防 総 務 課	19			1	4	2	3		9	
	警 防 課	10			1	1	6	2			
	予 防 課	8			1	1	3	3			
	情 報 管 理 課	11			(1) 1	(1) 2	1	1 6			
	小 計	50		1	5	8	12	15		9	
東 消 防 署	本 署	42			2	4	10	12		14	
	神 津 出 張 所	12					2	4	1	5	
	南 野 出 張 所	20					5	5		10	
	小 計	74			2	4	17	21	1	29	
西 消 防 署	本 署	40			2	4	6	13		15	
	池 尻 出 張 所	12					4	4		4	
	荒 牧 出 張 所	20					5	6	1	8	
	小 計	72			2	4	15	23	1	27	

情報管理課の消防司令長( )は次長事務取扱、司令( )は警防課副主幹兼務

情報管理課の下線は、尼崎市・伊丹市消防指令センター勤務

## 消防職員数の推移状況

(各年 4. 1現在)

年度	区分	定	実	消	消	消	消	消	消	消	事	(人)						
												員	員	防	防	防	防	防
14		189	180	1	3	6	17	60	60	2	30	1						
15		189	188	1	3	6	17	58	62	3	37	1						
16		189	189	1	3	6	18	57	64	2	37	1						
17		189	188	1	3	6	18	53	62	2	42	1						
18		200	189	1	3	6	19	49	63	2	45	1						
19		200	188	1	4	5	18	45	60	3	51	1						
20		200	200	1	4	6	18	47	65	4	55							
21		200	198		1	10	13	46	63	4	61							
22		200	192		1	9	16	40	60	3	63							
23		200	196		1	9	16	44	59	2	65							

### 消防職員階級別年齢構成

(H23. 4. 1現在)

階級別 年 齢	実 員	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	事 務 職 員	比 率 (%)	(人)					
												10	20	30	40	50	60
総 数	196		1	9	16	44	59	2	65		100						
20才未満	1								1		0.5						
20才以上～25才未満	34								34		17.3						
25才以上～30才未満	49						20		29		25.0						
30才以上～35才未満	30					7	21	1	1		15.3						
35才以上～40才未満	16					10	6				8.2						
40才以上～45才未満	17				9	6	2				8.7						
45才以上～50才未満	7			3	1	3					3.6						
50才以上～55才未満	4			1	2	1					2.0						
55才以上	38		1	5	4	17	10	1			19.4						
平均年齢	36.3		56.0	53.0	47.5	46.8	35.1	45.5	24.6								

### 消防職員階級別勤続年数

(H23. 4. 1現在)

階級別 年 数	実 員	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	事 務 職 員	比 率 (%)	(人)					
												10	20	30	40	50	60
総 数	196		1	9	16	44	59	2	65		100						
5年未満	56						4		52		28.6						
5年以上～10年未満	45						32		13		23.0						
10年以上～15年未満	15					7	7	1			7.6						
15年以上～20年未満	23				2	14	7				11.7						
20年以上～25年未満	9			1	6	2					4.6						
25年以上～30年未満	7			2	2	3					3.6						
30年以上～35年未満	4			1	2	1					2.0						
35年以上	37		1	5	4	17	9	1			18.9						
平均勤続	15.2		37.0	33.4	27.4	26.5	13.6	26.5	2.8								

## 消防力の整備指針と現有消防力の比較

(基準日：H23.4.1)

		施設			人員			備考
		基準 (A)	現有 (B)	充足率 (B/A) %	基準 (C)	現有 (D)	充足率 (D/C) %	
施設	署 所 数	6	6	100				
警 防 要 員	消防ポンプ自動車	9	9	100	108	73	68	・基準人員 4人/台
	はしご自動車	2	2	100	-	-	-	・乗替運用
	化学自動車	3	3	100	-	-	-	・乗替運用
	救急自動車	5	4	80	45	40	89	・基準人員 3人/台
	救助工作車	2	2	100	30	24	80	・基準人員 5人/台
	指揮車	2	2	100	18	12	67	・基準人員 3人/台
	特殊車等	1	1	100	-	-	-	
	通信員				10	10	100	・通信指令管制業務要員 (尼崎市・伊丹市消防指令センター派遣)
	小計	24	23	96	211	159	75	
予防要員					22	14	64	
その他庶務要員					23	23	100	
小計					45	37	82	
合計					256	196	77	

兼務予防要員6名を含めた場合 予防要員 現有 14人 20人 充足率 91%  
合計 現有 196人 202人 充足率 79%

## 消防車両配置状況

(H23. 4. 1現在)

署所別 車種別	計 (台)	消防局	東消防署			西消防署		
			本署	神津	南野	本署	池尻	荒牧
計	29	5	7	2	3	7	2	3
普通ポンプ車	6		1	1	1	1	1	1
水槽付ポンプ車	3				1	1	1	
化学車	3		1	1				1
はしご車	2		1			1		
救急車	5		1		1	2		1
救助工作車	2		1			1		
指揮広報車	1	1						
指揮車	3	1	1			1		
広報車	1		1					
査察車	2	2						
資機材搬送車	1	1						

## 消防車両性能現況

所 属	車 両 名	登 録 番 号	規 格 別	シ ャ シ ー			
				型 式	年 式	総 排 気 量 (cc)	出 力 (ps)
消 防 局	指 揮 車	神戸 830 め 119		トヨタGE - RZH183K	H13	2,438	120
	査 察 車 1 号	神戸 831 は 119		ニッサンDBA - QG10	H17	1,760	120
	査 察 車 2 号	神戸 500 さ 836		トヨタE - EL51	H10	1,330	85
	資 機 材 搬 送 車	神戸 830 た 2005		日野ADG - FD7JJWA	H17	6,403	210
	指 揮 広 報 車	神戸 883 あ 2008		ダイハツEBD-S321V	H 20	658	53
東 本 署 消 防 局 神 津 南 野 署	指 揮 車	神戸 830 ら 119		トヨタGE - RZH112V	H14	1,998	110
	普 通 ポ ン プ 車	神戸 800 せ 6602	C D - 型	トヨタBDG - XZU334	H22	4,009	150
	化 学 車	神戸 830 せ 2008	化 - 型	日野BDG-GX7JGWA改	H 19	6,400	220
	は し ご 車	神戸 831 て 119	4 0 m級	ニッサンディーゼルFJ-552LN	H16	21,205	400
	救 助 工 作 車	神戸 831 ん 119	型	日野PB - GX 7 JGFA改	H16	6,400	400
	救 急 車	神戸 830 つ 2008	高規格車	トヨタCBF - TRH226S	H20	2,693	151
	広 報 車	神戸 88 ひ 5120		トヨタR - ET196V	H 9	1,496	97
	普 通 ポ ン プ 車	神戸 830 す 2008	C D - 型	日野BDG-XZU334M	H 19	4,000	150
	化 学 車	神戸 830 さ 2006	化 - 型	日野ADG - GD7JGWA改	H17	6,400	220
	普 通 ポ ン プ 車	神戸 830 ま 119	C D - 型	日野KK - XZU371M	H13	4,890	140
	水 槽 付 ポ ン プ 車	神戸 800 さ 4254	水 A型	日野KK - FD1JEDA改	H11	7,960	220
	救 急 車	神戸 831 す 119	高規格車	トヨタTC - VCH38S	H15	3,375	180
西 本 署 消 防 局 池 尻 荒 牧 署	指 揮 車	神戸 800 さ 4086		ニッサンGE - VPGE24	H11	1,998	120
	普 通 ポ ン プ 車	神戸 830 み 119	C D - 型	日野KK - XZU371M	H13	4,890	140
	水 槽 付 ポ ン プ 車	神戸 800 は 2112	水 A型	日野BDG - GD7JGWA改	H22	6,400	220
	は し ご 車	神戸 88 や 5634	3 5 m級	三菱U - FU416N改	H 4	8,620	295
	救 急 車	神戸 800 せ 6666	高規格車	トヨタCBF - TRH226S	H22	2,693	155
	救 急 車 (非 常 用)	神戸 830 む 119	高規格車	トヨタGE - VCH38S	H13	3,378	180
	救 助 工 作 車	神戸 832 に 119	型	日野BDG-GX7JGWA改	H22	6,403	220
	普 通 ポ ン プ 車	神戸 800 さ 4267	C D - 型	日野KK - XZU331M	H11	4,899	140
	水 槽 付 ポ ン プ 車	神戸 88 た 723	水 A型	三菱KC - FK618EW	H 9	8,200	195
	普 通 ポ ン プ 車	神戸 830 の 119	C D - 型	日野KK - XZU331M	H12	4,899	140
	化 学 車	神戸 830 せ 2006	化 - 型	日野ADG - GD7JGWA改	H18	6,400	220
救 急 車	神戸 831 の 119	高規格車	トヨタTC - VCH38S	H17	3,370	180	

(H23.4.1現在)

総重量 (kg)	全長 (m)	全巾 (m)	全高 (m)	軸距 (m)	最小回転半径	ポンプ					車線無線機	備考	
						級別	型式	性能 (m <sup>3</sup> /min)	水槽 (ℓ)	薬槽			
										液状 (ℓ)			粉末 (kg)
3,215	4.99	1.69	2.44	2.89	5.2							有	
1,435	4.49	1.69	1.60	2.45	5.0							"	
1,215	4.13	1.66	1.37	2.38	4.3							無	
7,975	7.50	2.38	2.60	4.25	6.4							有	
1,340	3.39	1.47	1.92	2.45	4.2							"	
3,130	4.69	1.69	2.18	2.59	5.2							"	
4,535	5.70	1.80	2.60	2.80	5.7	A-2	2段バランスタービン	2.25				"	
10,200	7.10	2.25	3.05	3.75	6.4	A-2	2段バランスタービン	2.50	1,300	500		"	
19,630	11.30	2.50	3.79	5.93	5.4							"	
10,110	7.40	2.30	3.25	3.75	6.4							"	
3,275	5.64	1.89	2.54	3.11	6.1							"	
1,730	4.61	1.69	1.72	2.56	5.9							"	
4,545	5.85	1.88	2.48	2.80	6.1	A-2	2段バランスタービン	2.14				"	
9,310	7.10	2.35	3.00	3.46	6.4	A-2	2段バランスタービン	2.56	1,300	500		"	
4,875	5.78	1.88	2.80	2.80	5.9	A-2	2段バランスタービン	2.14				"	
7,580	6.72	2.21	2.68	3.28	5.3	A-2	2段バランスタービン	2.52	1,500			"	
3,055	5.66	1.80	2.52	3.66	5.9							"	
2,995	4.69	1.69	2.16	2.37	5.4							"	
4,875	5.78	1.88	2.80	2.80	5.9	A-2	2段バランスタービン	2.14				"	
8,500	7.05	2.35	2.86	3.75	5.8	A-2	2段バランスタービン	2.31	1,500			"	
16,031	9.57	2.49	3.50	5.65	8.0	A-2	2段バランスタービン	2.52				"	
3,275	5.62	1.89	2.49	3.11	6.1							"	
3,035	5.61	1.80	2.51	3.66	5.9							"	
10,990	7.60	2.33	3.28	3.75	6.4							"	
4,425	5.80	1.90	2.68	2.80	5.7	A-2	2段バランスタービン	2.14				"	
7,875	6.67	2.23	2.72	3.31	5.6	A-2	2段バランスタービン	2.45	1,500			"	
4,555	5.78	1.95	2.67	2.80	5.7	A-2	2段バランスタービン	2.14				"	
9,240	7.10	2.30	3.00	3.75	6.4	A-2	2段バランスタービン	2.91	1,300	500		"	
3,015	5.63	1.80	2.52	3.67	5.9							"	

### 消防用機械・器具保有状況

区分	名 称		数量	配 置 先							備 考
				局	東署	神津	南野	西署	荒牧	池尻	
消 火 用 機 器 ・ 装 備	発 泡 器	低発泡 400型	11		2	1	2	3	2	1	
		高発泡 東消式									
		泡ノズル	15		4	1	3	3	2	2	
	放水銃	1	1								クロスファイヤー
	多管ノズル	3	1	1			1				ダイナージェットYD115
	水損防止ノズル	11		2	1	3	3	1	1		東消式フォグガン
	ロータリーノズル	2	2								
	可搬式ポンプ	4	3				1				ラビット
	防水シート	39	1	10	2	7	12	2	5		
	組立式水のう	1	1								2トン角型
水幕発生管	2	2								ウォーターカーテン	
耐熱服	18		8	4		3	3				
救 助 用 機 器 ・ 装 備	クレーン	2		1			1			2.9トン車載	
	ウインチ	2		1			1			5トン車載	
	救助幕	2		1			1			L35	
	救命索発射銃	2		1			1			M63・レスキューマックス 412	
	救助用担架	3		1			2			バスケットストレッチャー含む	
	ガス溶断機	2		1			1			0Z	
	エアーカーター	2		1			1			アジャックスM711	
	エアソー	2		1			1			タイガー11089MJ	
	チェーンソー	8	1	2	1	1	1	1	1		
	サバイバースリング	2		1			1				
	電動ハンマー	2		1			1			PH40F	
	削岩機	1					1			コブラコンビ	
	油圧式救助用器具	2		1			1			ルーカスカッター・スプレッター	
	エンジンカッター	4		2			2				
	画像探査機 型	1					1			ピアポイントレスキュースコープ	
	画像探査機 型	2		1			1			スワットカムプロアイ310システム	
	熱画像直視装置	2		1			1			エボリューション5800他	
	地中音響探知機	2		1			1			デルサーLD3他	
	暗視スコープ	1					1			MUB-5000	
	空気呼吸器	60		16	7	6	20	6	5		
	酸素呼吸器	2		2						川崎10型	
	簡易呼吸器	5					5			パラートC	
	マット型空気ジャッキ	2		1			1			V型マイティーバック	
	潜水器具一式	28		8			20				
	救命ボート	2	1	1						船外機付ゴムボート(局)	
	可搬式ウインチ	6		2			4			チルホールT16・T35	
	緩降機	3	1				2			ストップシュート・スローダン	
	張力計	2	1	1						YR100・TMD300	
	放射線測定器	2		1			1			GMサーベイメーター・TGS146B	
	マンホール救助器具	2		1			1			ロールグリスR300ST	
エアラインマスク	1					1			ユニバーサルエアライン		
コンクリート破壊器具	1					1			ハンディーブレーカー		
水中スクーター	1					1					
有毒ガス検知管	1		1						ドレーゲル		
中和剤散布器	2		1			1					
除染シャワー	1		1						マルヤマ		

(H23.4.1現在)

区分	名 称	数量	配 置 先						備 考	
			局	東署	神津	南野	西署	荒牧		池尻
救助用機器・装置	救助用簡易起重機	1					1		ハベガーウィンチ	
	地震警報器	1				1			FRE9Lライト	
	車両移動器具	1				1			ゴージャックGT2500	
	光学距離測定器	1				1			ターゲット	
	放射線防護服	6		4			2		NUK-6000	
	有毒ガス測定器	2		1			1		ケミデックス	
	化学防護服	18		8			10		PS-2100・タイケムF	
	防毒衣	2					2		TS410	
	救助工具	2		1			1			
	送排風機	2		1			1		PFE-282Y他	
工ア-テント	1	1								
救急用機器・装置	半自動式除細動器	4		1		1	1	1	二相式除細動	
	A E D	3	1			2				
	自動式心マッサージ器	4		1		1	1	1		
	輸液ポンプ	5		1		1	2	1		
	聴診器	11		3		2	4	2		
	血圧計	10		2		2	4	2	アネロイド型	
	患者監視装置	5	1	1		1	1	1	BP-306	
	心電図モニター	5		1		1	2	1		
	喉頭鏡	5		1		1	2	1		
	救急法訓練人形	38	12	10			16		レサシアン他	
	マギール鉗子	11		2		3	4	2		
	パルスオキシメーター	8		2		1	3	2	携帯型含む	
	ショックパンツ	6		2		1	2	1		
	人工蘇生器	5		1		1	2	1	デマンドバルブ	
	救急用特殊担架	15	2	4		2	5	2	スク-ストレッチャー-ロングバックボード	
	酸素ボンベ	41		10		7	16	8		
	オゾン殺菌装置	5		1		1	2	1		
紫外線殺菌灯	5		1		1	2	1			
吸引器	5		1		1	2	1	パワーミニック		
減圧式固定ギブス	5		1		1	2	1			
その他の機器・装置	可燃性ガス測定器	12		3	2	1	3	2	1	
	酸素濃度測定器	1					1		XP-302M	
	感電防止衣	9		5			4			
	緊急防災工具	2		1			1		ガス用	
	空気充填設備	2	1	1					移動式	
	充電機	5		1	1		1	1	1	
	発電機	18	1	4	2	2	5	2	2	
	流量計	1	1							ASAHI 165mm
	真空計	1	1							NAGANO
	三連梯子	3		1			2			
	防毒マスク	17		3	3		8	3		DR73U 3M
発煙器	1	1							ミニミストMK3	
携帯用投光器	47	1	16	3	2	18	4	3	ポーターライト	
消防ホース	65	376		91	48	45	82	56	54	
	50	136		31	21	14	27	23	20	
	40	20		10	4			2	4	
	計	532		132	73	59	109	81	78	

# 消防職員教養状況

(H22. 4. 1~H23. 3.31)

学校等委託研修先	科 目	人員	期 間
消 防 大 学 校	幹 部 科	1	H22. 6/8 ~ 7/23
兵 庫 県 消 防 学 校	初 任 教 育	12	H22. 4/5 ~ 9/30
	専 科 教 育 救 急 科	11	H23. 1/25 ~ 3/18
	専 科 教 育 救 助 科	2	H22. 10/5 ~ 11/2
	専 科 教 育 火 災 調 査 科	2	H23. 1/6 ~ 1/20
	専 科 教 育 特 殊 災 害 科	1	H22. 11/29 ~ 12/10
	専 科 教 育 警 防 科	2	H22. 11/11 ~ 11/25
	幹 部 教 育 中 級 幹 部 科	2	H22. 11/9 ~ 11/17
	救 急 救 命 士 追 加 講 習	2	H22. 5/18 ~ 6/30
	救 急 救 命 士 養 成 課 程	1	H22. 9/1 ~ H23. 3/17
	惨 事 ス ト レ ス 研 修	1	H22. 7/15 ~ 7/16
	山 岳 救 助 技 術 研 修	1	H23. 3/15 ~ 3/17

その 他 研 修 名 等		受講人員			
総 務 関 係 研 修	全 国 消 防 長 会 近 畿 支 部 会 総 務 関 係 研 修 会	2	警 防 関 係 研 修	全 国 消 防 協 会 兵 庫 県 支 部 会 消 防 実 務 講 習 会	2
	全 国 消 防 長 会 東 近 畿 ・ 近 畿 支 部 会 消 防 長 研 修 会	1		兵 庫 県 下 消 防 長 会 会 会 火 災 調 査 研 究 会	29
	新 任 副 主 幹 研 修	4		阪 神 地 区 消 防 長 会 会 会 実 務 講 習 会	21
	新 任 主 査 研 修	6		航 空 機 連 携 講 習 会	2
	新 規 再 任 用 研 修	3		調 査 技 術 会 議	4
	新 規 採 用 職 員 研 修	8		火 災 調 査 特 別 研 修 会	14
	人 権 研 修	254		核 燃 料 輸 送 講 習	1
	メンタルヘルス研修会 (メンタルセルフケア研修)	9	予 防 関 係 研 修	全 国 消 防 長 会 近 畿 支 部 会 企 業 防 災 対 策 指 導 研 修 会	1
	安全運転管理者講習	3		全 国 消 防 長 会 近 畿 支 部 会 違 反 是 正 事 例 発 表 会	2
	地方行政課題研究会	2		全 国 消 防 長 会 近 畿 支 部 会 予 防 関 係 研 修 会	1
	人事評価制度研修	3		兵 庫 県 下 消 防 長 会 会 会 違 反 是 正 事 例 研 究 会	1
	接 遇 研 修	1		危 険 物 等 防 災 研 修 会	1
	近 畿 救 急 医 学 研 究 会	20		危 険 物 事 故 防 止 対 策 等 セ ミ ナ ー	1
救 急 救 助 関 係 研 修	阪 神 地 区 救 急 医 療 研 究 会	45	資 格 取 得 研 修	屋 外 タ ン ク 実 務 担 当 者 講 習 会	1
	救 急 救 命 士 生 涯 研 修	18		玉 掛 け 技 能 講 習	1
	救 急 救 命 士 就 業 前 研 修	4		小 型 移 動 式 ク レ ーン 運 転 技 能 講 習 資 格 取 得 講 習	1
	救 急 特 別 研 修 会	18		潜 水 士 免 許 取 得	1
	兵 庫 県 下 消 防 長 会 救 助 技 術 研 究 会	1		2 級 小 型 船 舶 免 許 取 得 講 習	1
				酸 素 欠 乏 ・ 硫 化 水 素 危 険 業 務 主 任 者 資 格 取 得 講 習	2

## 消防職員特殊技能資格取得状況

(H23. 4. 1現在)

階級別 資格種別		計	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	事 務 職 員
大型自動車免許 (1種)		127		1	7	15	37	51	2	14	
普通自動車免許 (1種)		180		1	9	16	42	53	2	57	
救 急 隊 員 資 格	救 急 救 命 士	44		1	6	7	15	9		6	
	( 気 管 挿 管 認 定 )	(11)				(3)	(5)	(2)		(1)	
	( 薬 剤 投 与 認 定 )	(26)				(3)	(9)	(8)		(6)	
	救急科(標準課程含む)	93					5	39	1	48	
	課 程	32			1	8	15	7	1		
	課 程	8			2	1	4	1			
救 助 隊 員 資 格		36		1	3	6	12	12	1	1	
予 防 技 術 資 格	防 火 査 察	14			2	3	3	6			
	消 防 設 備 等	11			1	3	4	3			
	危 険 物	6				2	2	2			
救急応急手当指導員		159		1	9	16	44	51	2	36	
潜 水 士		40			2	7	11	14		6	
第2級陸上特殊無線技士		144		1	7	16	39	46	2	33	
2級小型船舶操縦士		16			2	4	3	5		2	
小型移動式クレーン技能		53			5	10	18	17	1	2	
ガ ス 溶 接 技 能		30		1	6	11	10	1	1		
玉 掛 技 能		52		1	5	9	19	16	2		
足場組立作業主任者		5			1	1	3				
酸素欠乏危険作業主任者		35		1	1	6	10	13	2	2	
第1種衛生管理者		2					1	1			
安全衛生推進者		22		1	5	6	10				
防火管理者(甲種)		164		1	8	12	40	56	2	45	
消防設備点検資格者		2					1		1		
防火対象物点検資格者											
消 防 設 備 士	甲 種 (1 類)	1				1					
	甲 種 (4 類)	3				1	1	1			
	乙 種 (4 類)	3				1	1	1			
	乙 種 (5 類)	1				1					
	乙 種 (6 類)	19			2	2	6	8		1	
	乙 種 (7 類)	3				1	1			1	
危 険 物 取 扱 者	甲 種	3				1		1		1	
	乙 種 (1 類)	3					2			1	
	乙 種 (2 類)	4				1	1	1		1	
	乙 種 (3 類)	4				1	2	1			
	乙 種 (4 類)	55				4	8	25		18	
	乙 種 (5 類)	4					2	1		1	
	乙 種 (6 類)	3					1	1		1	
丙 種	25			4	8	10	3				

## 消防水利の現況

(H23. 4. 1現在)

区分 所属	消火栓		防火水槽	公設防火水槽					指定水利					
	公設	私設		小計	80m <sup>3</sup> 以上	60m <sup>3</sup> 以上	40m <sup>3</sup> 以上	20m <sup>3</sup> 以上	小計	防火水槽				その他
						}	}	}		80m <sup>3</sup> 以上	60m <sup>3</sup> 以上	40m <sup>3</sup> 以上	20m <sup>3</sup> 以上	
											80m <sup>3</sup> 未満	60m <sup>3</sup> 未満	40m <sup>3</sup> 未満	
東消防署	本署	657	159 (79)	32 (4)	2 (2)	2 (1)	28 (1)		128 (75)	33 (24)	40 (27)	54 (24)		1
	神津	237	57 (17)	19 (9)	1 (1)	4 (4)	14 (4)		38 (8)	9 (1)	12 (6)	17 (1)		
	南野	819	76 (26)	35 (13)	1	13 (13)	20	1	42 (14)	6 (3)	11 (2)	24 (8)		1 (1)
	小計	1,713	292 (122)	86 (26)	4 (3)	19 (18)	62 (5)	1	208 (97)	48 (28)	63 (35)	95 (33)		2 (1)
西消防署	本署	583	60 (31)	12 (5)		3 (3)	9 (2)		48 (26)	7 (6)	22 (15)	18 (5)	1	
	池尻	596	106 (54)	26 (10)	7 (4)	5 (5)	14 (1)		82 (44)	13 (10)	29 (19)	38 (15)		2
	荒牧	648	94 (44)	28 (15)	9 (7)	6 (5)	12 (3)	1	66 (29)	6 (3)	33 (20)	27 (6)		
	小計	1,827	260 (129)	66 (30)	16 (11)	14 (13)	35 (6)	1	196 (99)	26 (19)	84 (54)	83 (26)	1	2
合計	3,540	26	552 (251)	152 (56)	20 (14)	33 (31)	97 (11)	2	404 (196)	74 (47)	147 (89)	178 (59)	1	4 (1)

( )内は、耐震性貯水槽の数

## 消火薬剤現有状況

(H23. 4. 1現在)

種類	区分	合計	東消防署				西消防署			
			小計	本署	神津	南野	小計	本署	池尻	荒牧
たん白泡		450	200		200		250	250		
界面活性剤	高発泡	20					20	20		
	高低兼用泡	732	150	150			582	227	80	275
	低発泡	70	20	20			50			50
水溶性液体用泡 (耐アルコール用)		300	80	80			220	220		
水成膜泡		3,061	2,009	1302	590	117	1,052	140	60	852
計 (ℓ)		4,633	2,459	1,552	790	117	2,174	857	140	1,177
油処理剤 (ℓ)		395	182	40	72	70	213	90	48	75
油吸着剤 (枚)		3,130	1244	399	399	446	1,886	785	771	330

## 通信・指令の概要

通信指令業務は、火災、救急、救助及びその他の災害発生による119番の受信、消防隊等への出動指令、出動部隊との無線交信による災害状況等の把握及び出動部隊への防ぎよ活動上必要な支援情報の伝達、関係機関等との連絡等消防通信全般を統括しています。

### 119番等の受信状況

平成22年中の「119番」による火災、救急、救助及びその他災害等の受信状況は、14,908件を数え、一日平均41件となっています。

また、「119番」の着信種別では、固定電話が、6,177件で41.4%、携帯電話が5,203件で34.9%、P電話が3,528件で23.7%となっています。

これらの通報の中には、災害や病院等の問い合わせ、いたずら及び消防に関する相談などの誤った使用も多く見られ、緊急時には支障となり、正しい利用が望まれます。

#### < 119番等受信状況 >

(H22.1.1~H22.12.31)

項目	119専用電話			他市から転送	他市へ転送	加電	入話	警察電話	駆け付け	自覚	己知	その他	項目別受信数
	固定	携帯	IP										
火災通報	33	45	17	10	6	8	8	1				3	125
自然災害													
その他災害	43	56	17	7	4	20	43	7				12	205
救助通報	5	23	3	5	1	1	4			3			44
航空機事故												16	16
救急通報	3,427	2,469	2,005	302	270	319	185	48		38		7	8,800
いたずら	59	600	6										665
病院案内	617	877	681	52	4	30	1						2,258
訓練通報	391	14	119	1									525
試験通信	517	10	139										666
その他	1,085	1,109	541	38	17	1							2,774
小計	6,177	5,203	3,528	415	302	379	241	56		41		38	16,078
合計	14,908			415		755						16,078	

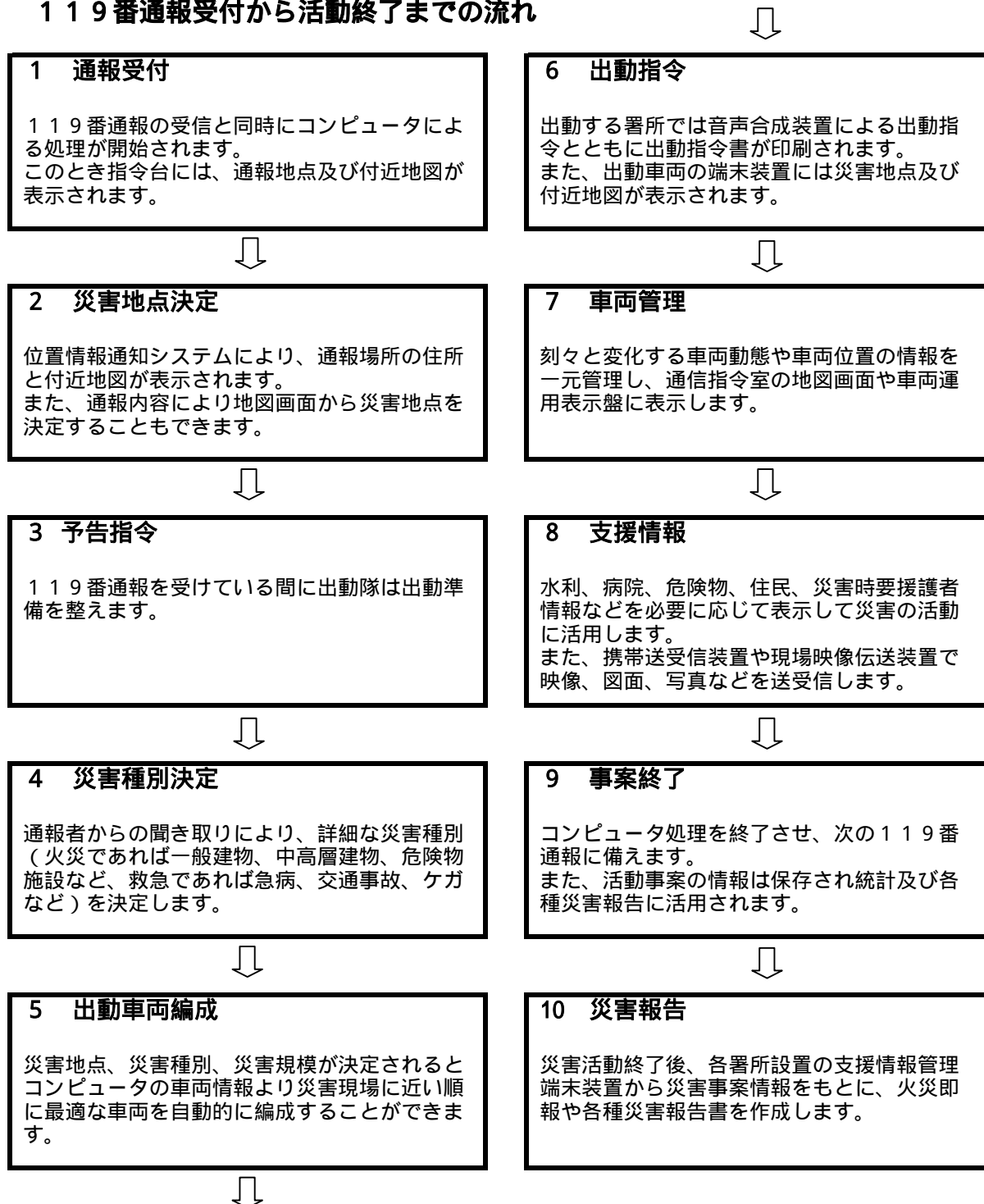
他市への転送については119専用電話の携帯に含まれるため、項目別受信数及び合計には計上しない

## 消防指令管制システムの概要

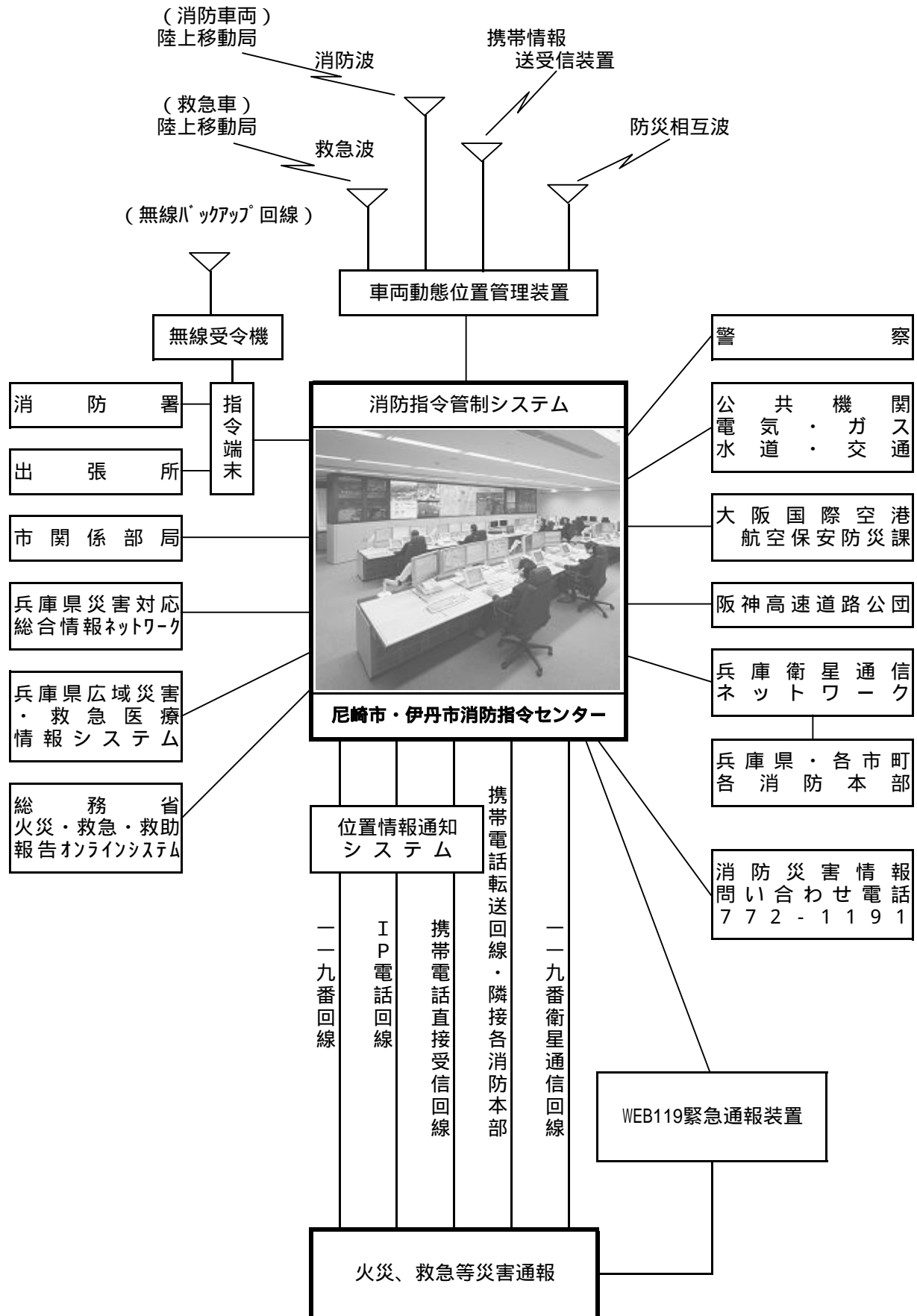
本システムは、社会環境の変化に即応した消防及び救急・救助体制の充実強化を図るため、尼崎市・伊丹市消防指令センターに、情報化社会の最先端技術を駆使したコンピュータ制御によるシステムとして導入したもので、携帯電話やIP電話による119番通報の受信・処理等のほか、音声による119番通報が困難な方を対象に、WEB機能を使った119番通報やFAXでの通報も行えます。

災害通報から現場到着までの多くの情報をより早く、より確実に処理し、出動までの時間短縮が図られ、災害時にその威力を発揮します。

### 119番通報受付から活動終了までの流れ



# 消防指令管制システム系統図

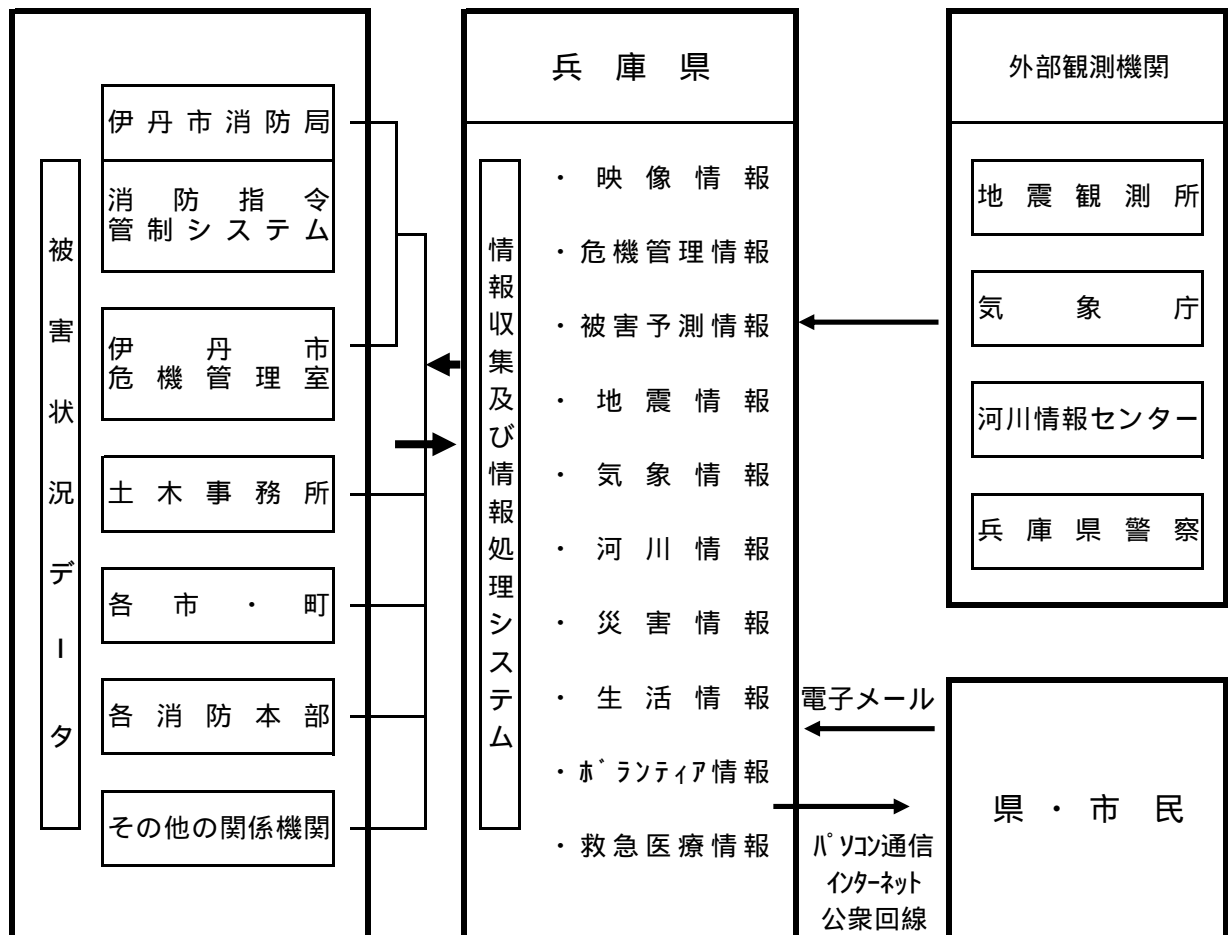


## 兵庫県災害対応総合情報ネットワークシステムの概要

本システムは、阪神・淡路大震災の教訓を踏まえ、兵庫県が県下各市町・消防本部及び、防災関係機関等からの情報収集とその解析により、迅速・的確な応急対応を実現するとともに、各市町災害対策本部や公共施設等との情報交換を円滑化し、緊急援助活動等を支援するため、導入された広域的なシステムです。

初動体制の確保、関係機関等との連携強化及び情報の共有化等により、迅速な支援対策が図られ、広域災害、大規模災害時にその威力を発揮します。

## 兵庫県災害対応総合情報ネットワークシステム構成図



○ 有線施設の現況

(H23.4.1現在)

区 分	総 数	消防局	東 消 防 署			西 消 防 署			消防団
			本 署	神 津	南 野	本 署	池 尻	荒 牧	
計	87	51	11	4	6	5	4	6	
1 1 9 番 受 付 回 線	12	12							
指 令 回 線	6		1	1	1	1	1	1	
携 帯 電 話 転 送 回 線	4	4							
警 察 専 用 回 線	1	1							
空 港 専 用 回 線	1	1							
阪 神 高 速 ト ン ネ ル 専 用 回 線	1	1							
市 役 所 回 線	24	12	4	2	2		2	2	
I P 電 話 回 線	4	4							
加 入 電 話 回 線 等	一般加入用	12	5	3	1	1		1	1
	順次指令用	1	1						
	自動案内用	2	2						
	指令台専用	2	2						
	発信専用	1	1						
	F A X 専 用	6	2	1		1	1		1
	医療情報	1	1						
防災システム	1	1							
携 帯 電 話	8	1	2		1	3		1	

119番受付回線の内4回線は、携帯電話の受付用

○ 無線局の現況

(H23.4.1現在)

区 分	総 数	消防局	東 消 防 署			西 消 防 署			消防団		
			本 署	神 津	南 野	本 署	池 尻	荒 牧			
計	75	17	16	4	6	16	4	6	6		
基 地 局	1	1									
固 定 局	2	2									
兵 庫 衛 星 通 信 ネットワーク	1	1									
移 動 局	消 防 波 系	車 載 型	29	4	6	2	2	5	2	2	6
		可 搬 型	2		1			1			
		携 帯 型	31	9	7	2	2	7	2	2	
	救 急 波 系	車 載 型	5		1		1	2		1	
		携 帯 型	4		1		1	1		1	

○ 消防無線呼出名称等一覧

区分	呼出名称	常置場所	波系区分	空中線電力	組込周波数									
					1	2	3	4	5	6	7	8		
基地局	いたみしょうぼう	消防局(情報管理課)	消・防・救	10W										
固定局	いたみしょうぼうほんぶ	消防局(情報管理課)	消	10W										
	いたみあまがさきしょうぼう	センター(情報管理課)	消	1W										
移動局	車	いたみ 1	消防局(指揮車)	消・防	10W									
		いたみ 2	消防局(指揮広報車)	消・防	10W									
		いたみ 7	消防局(広報車)	消・防	10W									
		いたみ 8	消防局(資材搬送車)	消・防	10W									
		いたみ 9	消防局(非常救急車)	消・防・救	10W									
		いたみひがし 1	東 署(指揮車)	消・防	10W									
		いたみひがし 3	東 署(普通車)	消・防	10W									
		いたみひがし 4	東 署(化学車)	消・防	10W									
		いたみひがし 5	東 署(梯子車)	消・防	10W									
		いたみひがし 6	東 署(救助工作車)	消・防	10W									
		いたみひがし 7	東 署(広報車)	消・防	10W									
		いたみひがし 9	東 署(救急車)	消・防・救	10W									
	いたみかみつ 3	神 津(普通車)	消・防	10W										
	いたみかみつ 4	神 津(化学車)	消・防	10W										
	いたみみなみ 2	南 野(タンク車)	消・防	10W										
	いたみみなみ 3	南 野(普通車)	消・防	10W										
	いたみみなみ 9	南 野(救急車)	消・防・救	10W										
	動 載	いたみにし 1	西 署(指揮車)	消・防	10W									
		いたみにし 2	西 署(タンク車)	消・防	10W									
		いたみにし 3	西 署(普通車)	消・防	10W									
		いたみにし 5	西 署(梯子車)	消・防	10W									
		いたみにし 6	西 署(救助工作車)	消・防	10W									
		いたみにし 9	西 署(救急車)	消・防・救	10W									
		局 型	いたみいけじり 2	池 尻(タンク車)	消・防	10W								
			いたみいけじり 3	池 尻(普通車)	消・防	10W								
			いたみあらまき 3	荒 牧(普通車)	消・防	10W								
			いたみあらまき 4	荒 牧(化学車)	消・防	10W								
			いたみあらまき 9	荒 牧(救急車)	消・防・救	10W								
			いたみなかの 101	中 野 分 団	消・防	5W								
	いたみひがしの 101		東 野 分 団	消・防	5W									
	いたみいけじり 101		池 尻 分 団	消・防	5W									
	いたみしもがわら 101		下 河 原 分 団	消・防	5W									
	いたみうちだい 101	内 台 分 団	消・防	5W										
いたみおおじか 101	大 鹿 分 団	消・防	5W											

(H23.4.1現在)

区分	呼出名称	常置場所	波系区分	空中線電力	組込周波数									
					1	2	3	4	5	6	7	8		
移動局	いたみ 20	情報管理課	消・防	1W										
	いたみ 21	情報管理課	消・防	1W										
	いたみ 22~28	情報管理課	消・防	5W										
	いたみひがし 11	東 署	消・防	5W										
	いたみひがし 13	東 署	消・防	5W										
	いたみひがし 14	東 署	消・防	5W										
	いたみひがし 15	東 署	消・防	5W										
	いたみひがし 16・17	東 署	消・防	5W										
	いたみひがし 18	東 署	消・防	5W										
	いたみひがし 19	東 署	消・防・救	5W										
	いたみひがし 70	東 署	消・防	10W										
	いたみかみつ 13	神 津	消・防	5W										
	いたみかみつ 14	神 津	消・防	5W										
	いたみみなみ 12	南 野	消・防	5W										
	いたみみなみ 13	南 野	消・防	5W										
	いたみみなみ 19	南 野	消・防・救	5W										
	いたみにし 11~13	西 署	消・防	5W										
	いたみにし 15~17	西 署	消・防	5W										
	いたみにし 18	西 署	消・防	5W										
	いたみにし 19	西 署	消・防・救	5W										
	いたみにし 80	西 署	消・防	10W										
	いたみいけじり 12	池 尻	消・防	5W										
	いたみいけじり 13	池 尻	消・防	5W										
	いたみあらまき 13	荒 牧	消・防	5W										
	いたみあらまき 14	荒 牧	消・防	5W										
	いたみあらまき 19	荒 牧	消・防・救	5W										

1. 波系区分の(消)は消防波、(防)は防災相互波、(救)は救急波を示す。

2. 組込周波数欄は次のとおり  
 1 : 第1市波(153.51MHz) 2 : 第2市波(151.43MHz) 3 : 県内共通波(148.29MHz)  
 4 : 5 : 6 : 全国波(1 : 150.73MHz / 2 : 148.75MHz / 3 : 154.15MHz)  
 7 : 防災相互波(158.35MHz) 8 : 救急波(147.76MHz / 基地局・143.76MHz / 移動局)

3. 移動局携帯型「いたみ20・21」は、陸上移動局と携帯局との重局免許です。  
 車載型 34基 (団6含む) 携帯型 37基

# 月別気象状況

(H22. 1. 1 ~ H22. 12. 31)

月別 区分		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計・平均 最高・最低	
														平成 22年	平成 21年
天候 (日)	快晴	4	2	2	1	1	2		1			3	1	17	26
	晴	20	13	15	15	21	11	16	25	21	17	19	18	211	202
	曇	6	10	7	8	5	13	8	5	7	11	7	12	99	104
	雨	1	2	7	6	4	4	7		2	3	1		37	33
	雪		1												1
気温 ( )	最高	15.0	21.1	21.3	23.5	30.4	32.1	37.1	36.6	35.3	28.4	20.9	19.5	37.1	36.5
	最低	-2.3	-1.1	0.1	2.2	7.3	14.8	20.3	24.4	15.5	8.4	2.7	-0.6	-2.3	-1.5
	平均	5.0	7.0	8.8	12.7	18.1	23.6	27.6	30.0	26.0	19.3	11.9	7.3	16.4	16.3
実効湿度 (%)	最高	77.4	80.1	81.0	77.8	73.2	77.9	83.4	71.9	71.2	75.1	73.8	75.4	83.4	83.9
	最低	57.9	59.4	55.8	53.9	52.0	54.8	61.5	62.6	60.7	60.9	55.2	56.6	52.0	47.0
	平均	65.9	68.1	69.5	64.5	61.9	66.3	70.8	65.6	64.7	66.3	64.4	63.6	66.0	67.8
風速 (m/s)	瞬間最大	西 20.0	北西 18.4	西南西 19.7	北 16.9	南西 16.1	西南西 14.2	南南西 18.2	南西 18.3	南南西 16.1	北北西 17.8	西北西 17.0	西北西 19.0	西 20.0	北 32.2
	平均	2.1	2.6	2.7	2.8	2.7	2.4	2.5	2.6	2.5	2.5	2.1	2.3	2.5	2.5
降雨量 (mm)	総雨量	44.5	126.5	157.5	158.0	175.0	273.0	254.5	51.0	97.0	121.0	13.0	52.5	1523.5	1224.5
	日最大雨量	27.5	56.0	21.5	42.0	78.5	50.0	58.5	23.5	36.5	35.0	11.0	18.5	78.5	52.5
風向 (日2回)	北	7	9	10	10	8	3	2	3	8	12	5	8	85	109
	北北東	7	10	5	3	2	1	2	2	5	12	7	7	63	63
	北東	2	4	3	1	2	1	1		3	4	10		31	53
	東北東	1	1	2	6	7	5	1	6	2	11	5	5	52	61
	東	3	2	8	5	4	8	3	6	2	6	2	2	51	43
	東南東		2	3		2	3		1	1	1	1	1	15	14
	南東	2		1	2	3	2	2	3	3	1	1		20	10
	南南東				2	1	1	1	1		1	2	2	11	7
	南	3	3	1	2	1	2	4	2	3		2		23	15
	南南西	5	1	8	6	15	16	23	15	14	3	4	4	114	93
	南西	7	4	4	8	8	11	16	19	10	3	2	1	93	77
	西南西	3	1	2	3	2	3	3	1	3		3	3	27	26
	西	6	2			1	1		1	1	1	4	10	27	13
	西北西	7	2	3	2	1	1					3	6	25	28
	北西	4	7	4	1		1			3	1	6	7	34	49
北北西	4	8	8	9	5	1	4	2	2	6	3	6	58	68	
無風	1												1	1	

備考 : 天候の数値は、毎日午前9時の測定値です。

: 風向の数値は、毎日午前9時、午後3時2回の測定値です。

# 気象情報等発令状況

(H22. 1. 1 ~ H22. 12. 31)

情報	月別												平成22年 合計件数	平成21年 合計件数	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12			
合計	14	16	34	31	26	51	68	39	31	28	16	34	388	324	
警 報	大雨				1	1	1						3	4	
	洪水				2	1	1						4	4	
	暴風													1	
	大雪														
	火災														
注 意 報	大雨			2	1	9	9	2	3	3		1	30	20	
	洪水			1	1	8	8	2	3	2		1	26	21	
	乾燥	4	2	3	7	2	2			1	7	4	32	27	
	強風	2	3	8	4	3	1	2	1	1	2	1	34	30	
	濃霧	1	5		1	1	3	1		1		3	16	10	
	雷	1	1	5	3	3	14	16	20	9	5	1	8	86	62
	風雪			2								1	3	1	
	大雪			1									1	1	
	霜			7	4								11	9	
	低温														
	着雪			1									1		
	火災														
	光化学 スモッグ														
情 報	大雨			5	10	11	30	7	6	8			77	70	
	梅雨														
	台風							6	7	4			17	15	
	積雪			3									3	14	
	地震		2										2	1	
	火災通	6	3	4	4	2	1		1	2	2	7	10	42	34
	光化学 スモッグ														
水防指令 (市) 1号~2号															
防災指令 (市) 1号~2号															





## 予防概要

本市における防火対象物(消防法規制対象物)は5,428棟、危険物許可施設は387施設を有しており、年間を通じて消防用設備等の設置、維持及び管理、防火管理体制の充実、危険物施設の安全管理等について、火災予防体制の確立に努めています。

また、市内全域で自主防災組織の結成を呼びかけ、自主防災活動育成・支援及び幼年消防クラブなど市民防災活動の普及を図り、「災害に強いまちづくり」をめざし努力していきます。

## 予防願届処理状況

(H22.4.1～H23.3.31)

内 容	件 数	内 容	件 数
防火管理者選解任	1	無水硫酸	2
防火管理者講習修了証交付	475	液化石油ガス	2
消防計画作成(変更)	1	生石灰	2
工事中の消防計画	1	毒物・劇物(別表第1)	2
共同防火管理協議事項作成(変更)	1	毒物・劇物(別表第2)	2
消防訓練実施計画通知書(義務)	921	指定可燃物	2
消防訓練実施計画通知書(自主)	239	少量危険物	2
防火対象物点検報告書	94	裸火使用等承認申請書	38
防火対象物点検報告特例認定申請書	58	煙火打上げ・仕掛け	1
防火自主点検報告書	1	催物開催	1
消防用設備等	3	指定洞道等	1
工事整備対象設備等着工	1	タンク水張・水圧検査申請書	
防火対象物使用開始	1	熱風炉、多量の可燃ガス・蒸気炉	3
消防用設備等検査済証交付	69	据付面積2㎡以上の炉	3
特例認定申請書	3	厨房設備	3
消防用設備等点検結果報告書	1,766	温風暖房機	3
指導書(当務査察)	482	ボイラー・給湯湯沸設備	3
〃(非番査察)	127	乾燥設備	3
通知書(当務査察)	27	サウナ設備	3
〃(非番査察)	9	ヒートポンプ冷暖房機	3
警告書		火花を生ずる設備・放電加工機	3
命令書		変電設備	3
改善計画(結果)報告書	561	発電設備	3
消防資料提出等	100	蓄電池設備	3
消防用設備等点検等の通報		ネオン管灯設備	3
圧縮アセチレンガス	2	水素ガスを充てんする気球	3
1 届出書		合計	7,127
2 貯蔵・取扱届出書			
3 設置届出書			

防火対象物査察状況

防火対象物数(H23.3.31現在) 査察実施数(H22.4.1～H23.3.31)

防火対象物用途		区 分	防火対象物数	査察実施数
(1)	イ	劇場、映画館、演芸場又は観覧場	6	6
	ロ	公会堂又は集会場	72	66
(2)	イ	キャバレー、カフェー、ナイトクラブなど		
	ロ	遊技場又はダンスホール	8	8
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗など		
	ニ	カラオケボックス、インターネットカフェなど	2	2
(3)	イ	待合、料理店など		
	ロ	飲食店	73	66
(4)		百貨店などの物品販売店又は展示場	178	153
(5)	イ	旅館、ホテル、宿泊所など	6	6
	ロ	寄宿舍、下宿又は共同住宅	2,403	435
(6)	イ	病院、診療所又は助産所	46	33
	ロ	老人短期入所施設・重症心身障害児施設など	20	20
	ハ	老人デイサービスセンター・児童養護施設など	54	42
	ニ	幼稚園又は特別支援学校	42	42
(7)		小学校、中学校、高等学校など	88	36
(8)		図書館、博物館、美術館など	5	1
(9)	イ	公衆浴場のうち蒸気浴場、熱気浴場など		
	ロ	イ以外の公衆浴場	4	
(10)		車両の停車場、航空機の発着場	1	1
(11)		神社、寺院、教会など	65	18
(12)	イ	工場又は作業場	664	154
	ロ	映画スタジオ又はテレビスタジオ		
(13)	イ	自動車車庫又は駐車場	55	18
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫	5	
(14)		倉庫	360	58
(15)		前各項に該当しない事業場	470	107
(16)	イ	特定用途の存する複合用途防火対象物	457	372
	ロ	イに掲げる以外の複合用途防火対象物	339	68
(16の2)		地下街		
(16の3)		準地下街		
(17)		文化財等	4	2
(18)		延長50メートル以上のアーケード	1	
合 計			5,428	1,714

\* 防火対象物数：(17)項、(18)項以外は延べ面積150㎡以上のもの

< 参 考 > 一人暮らしの高齢者宅等訪問 696世帯

## 対象物用途別同意等状況

(H22.4.1～H23.3.31)

防火対象物用途区分		区分	新築	増築	改築等	合計
(1)	イ	劇場、映画館、観覧場又は観覧場				
	ロ	公会堂又は集会場	1			1
(2)	イ	キャバレー、カフェー、ナイトクラブなど				
	ロ	遊技場又はダンスホール				
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗など				
	ニ	カラオケボックス、インターネットカフェなど				
(3)	イ	待合、料理店など				
	ロ	飲食店	1			1
(4)		百貨店などの物品販売店舗又は展示場	9		1	10
(5)	イ	旅館、ホテル、宿泊所など				
	ロ	寄宿舍、下宿、共同住宅	31	1	4	36
(6)	イ	病院、診療所又は助産所	1	1		2
	ロ	老人短期入所施設・重症心身障害児施設など	3			3
	ハ	老人デイサービスセンター・児童養護施設など	1		1	2
	ニ	幼稚園又は特別支援学校	2			2
(7)		小学校、中学校、高等学校など	2	1	3	6
(8)		図書館、博物館、美術館など				
(9)	イ	公衆浴場のうち蒸気浴場、熱気浴場など				
	ロ	イ以外の公衆浴場				
(10)		車両の停車場、航空機の発着場				
(11)		神社、寺院、教会など				
(12)	イ	工場又は作業場	5	3		8
	ロ	映画スタジオ又はテレビスタジオ				
(13)	イ	自動車車庫又は駐車場	2		1	3
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫				
(14)		倉庫	7	1		8
(15)		前各項に該当しない事業場	22	1	21	44
(16)	イ	特定用途の存する複合用途防火対象物	5		6	11
	ロ	イに掲げる以外の複合用途防火対象物	4		1	5
(16の2)		地下街				
(16の3)		準地下街				
(17)		文化財等				
(18)		延長50メートル以上のアーケード				
その他		専用住宅	24		22	46
		長屋住宅	13		2	15
合計			133	8	62	203

参考 仮使用承認、工作物、通知書の受理件数 698件

用途別中高層建築物棟数(4階以上)

(H23.3.31現在)

防火対象物区分		4階	5階	6階	7階	8階	9階	10階	11階	12階	13階	14階	15階	合計	高層	
(1)	イ	劇場・映画館・観覧場		1										1		
	ロ	公会堂・集会場		1	1									2	1	
(2)	イ	キャバレー・ナイトクラブ														
	ロ	遊技場・ダンスホール													1	
	ハ	性風俗特殊関連営業店舗等														
(3)	イ	待合・料理店等														
	ロ	飲食店	2	2			1							5		
(4)		百貨店・マーケット等	2											2		
(5)	イ	旅館・ホテル等	1	1			1		1					4	1	
	ロ	寮・共同住宅等	281	262	74	43	39	20	34	25	15	8	5	3	809	58
(6)	イ	病院・診療所・助産所	7	4	1		1							13	2	
	ロ	老人短期入所施設・重症心身障害児施設等	4	1		1					1			7	1	
	ハ	老人デイサービスセンター・児童養護施設等	1					1						2		
	ニ	幼稚園・盲学校・養護学校														
(7)		小学校・中学校・高等学校等	23	10										33		
(8)		図書館・博物館等	1	1										2		
(9)	イ	公衆浴場のうち蒸気浴場・熱気浴場														
	ロ	イ以外の公衆浴場														
(10)		車両の停車場・航空機の発着場														
(11)		神社・寺院・教会等														
(12)	イ	工場・作業場	47	4										51		
	ロ	映画・テレビスタジオ														
(13)	イ	自動車車庫・駐車場			1									1		
	ロ	航空機等の格納庫														
(14)		倉庫	6	2										8		
(15)		前各項に該当しない事業場	29	19	3	6	1							58	2	
(16)	イ	特定用途の存する複合用途防火対象物	87	30	19	7	4	1	2	4	1	1		156	11	
	ロ	イに掲げる以外の複合用途防火対象物	55	21	7	5	5			2				95	1	
(16)の2		地下街														
(16)の3		準地下街														
(17)		文化財等														
(18)		延長50メートル以上のアーケード														
合計			546	359	106	62	51	23	36	32	16	10	5	3	1,249	78

高層建築物(高さ31メートルを超える建築物をいう。)

## 防火管理者資格講習会実施状況

年度	区分	新規講習回数	修了証 交付者数	年度	区分	再講習回数	修了証 交付者数
平成18年度		2	183人	平成18年度		1	64人
平成19年度		2	190人	平成19年度		1	23人
平成20年度		2	215人	平成20年度		1	15人
平成21年度		2	206人	平成21年度		1	11人
平成22年度		4	423人	平成22年度		1	25人

新規講習:昭和36年から実施 累計88回 10,271人

再講習:平成18年から実施 累計5回 138人

## 広報活動状況

(H22.4.1~H23.3.31)

種別	回数	参加者数等	種別	回数	参加者数等
消防訓練指導	195	15,719人	C A T V・F Mいたみ・広報	617	-
防火講演・懇談会等	16	420人	消防ニュース配布	2	1,400部
児童等防火教育指導	42	1,979人	消防だより配布	2	14,000枚
防火映画・ビデオ	30	1,317人	防火ポスター配布	3	5,739枚
消防のしおり等配布	5	608部	市広報紙「広報いたみ」掲載	16	-
巡回防火広報	101	-	予防広報等チラシ	-	20,520枚

## 幼年消防クラブの結成状況

(H23.3.31現在)

NO	名称	結成年月日	現クラブ員数	備考
1	白ゆり幼稚園幼年消防クラブ	H3.9.10	230人	
2	伊丹市立幼稚園南ブロック "	H4.5.20	116人	南・ささはら・すずはら
3	いずみ幼稚園 "	H4.6.26	151人	
4	ロザリオ幼稚園 "	H4.10.5	92人	
5	伊丹市立幼稚園北ブロック "	H5.5.27	209人	桜台・天神川・おぎの・こうのいけ
6	西伊丹幼稚園 "	H5.7.1	87人	
7	伊丹市立幼稚園東ブロック "	H6.5.26	84人	伊丹・神津・ありおか
8	美鈴月影幼稚園 "	H6.6.16	31人	
9	伊丹市立幼稚園中央ブロック "	H7.6.20	99人	みずほ・稲野・緑
10	伊丹市立幼稚園西ブロック "	H8.6.14	135人	せつよう・こやのさと・はなさと・いけじり
11	月影幼稚園 "	H9.6.18	64人	
12	野間幼稚園 "	H9.11.6	113人	
13	王たるキリスト幼稚園 "	H10.11.16	45人	
計			13組織 (25幼稚園)	1,456人

### 幼年消防クラブ

幼児に対して、行事や遊びを通じて正しい火の取扱いや消防の仕事等を理解してもらうために結成したクラブです。

## 幼年消防クラブの活動状況

(H22.4.1～H23.3.31)

種別	回数	参加者数	種別	回数	参加者数
防火教室(組替式含む)	16	1,870人	防火映画・ビデオ	6	591人
避難訓練等	49	3,004人	消防出初式参加	1	1,455人
消防署見学会	7	441人	計	79	7,361人



## 自主防災組織の結成状況(1)

(H23.3.31現在)

No.	名 称	校 区	世帯数	結成年月日
1	高畑地区自主防災会	有 岡	400	H 8. 7. 7
2	広畑地区自主防災会	瑞 穂	257	H 8. 7.28
3	外城地区自主防災会	有 岡	500	H 8. 8. 4
4	堺住地区自主防災会	有 岡	205	H 8. 8.12
5	中野西地区自主防災会	桜 台	187	H 8. 9. 1
6	鴻池団地自治会自主防災会	桜 台	160	H 8. 9. 1
7	行基町北自治会地区自主防災会	伊 丹	490	H 8. 9.29
8	北河原地区自主防災会	伊 丹	400	H 8.10.22
9	中野地区自主防災会	桜 台	980	H 8.11. 7
10	鶴田地区自主防災会	天神川	453	H 8.12. 1
11	瑞原3丁目地区自主防災会	鴻 池	140	H 9. 1. 1
12	コープ野村第1自主防災会	有 岡	198	H 9. 1. 1
13	パストラル昆陽自主防災会	花 里	307	H 9. 1.20
14	昆陽双葉南防災防犯部	摂 陽	204	H 9. 3.30
15	植松地区自主防災会	有 岡	700	H 9. 4. 1
16	昆陽南地区自主防災会	摂 陽	123	H 9. 4. 1
17	本町地区自主防災会	伊 丹	205	H 9. 4.13
18	アリオいたみ自主防災会	有 岡	240	H 9. 4.20
19	森本地区自主防災会	神 津	900	H 9. 6. 1
20	北園地区自主防災会	緑 丘	180	H 9. 6. 1
21	東有岡地区自主防災会	有 岡	395	H 9. 7. 7
22	昆陽宮ノ前自主防災会	摂 陽	97	H 9. 7.10
23	南菱地区自主防災会	鈴 原	254	H 9.10. 1
24	北寺本自治会自主防災会	花 里	680	H 9.10. 1
25	山田東地区自主防災会	昆陽里	490	H 9.10. 1
26	西野台自主防災会	桜 台	65	H 9.11. 6
27	伊丹レックスマンション自主防災会	伊 丹	70	H 9.11.10
28	森本高層自主防災会	神 津	184	H 9.11.12
29	山田地区自主防災会	昆陽里	950	H 9.12. 1
30	松ヶ丘地区自主防災会	稲 野	402	H10. 3. 1
31	藤ノ木自治会自主防災会	伊 丹	133	H10. 4. 1
32	レジデンス昆陽地区自主防災会	稲 野	76	H10. 5. 1
33	昆陽宮田自主防災会	摂 陽	158	H10. 6. 1
34	池尻南部地区自主防災会 (池尻北部)	池 尻	136	〃
35	〃 (カルム西伊丹)	池 尻	77	〃
36	〃 (阪神住宅)	池 尻	118	〃
37	〃 (北池尻団地)	池 尻	82	〃
38	〃 (池尻)	池 尻	443	〃
39	〃 (池尻西部)	池 尻	143	〃
40	〃 (池尻南西部)	池 尻	34	〃
41	〃 (アルス伊丹)	池 尻	31	〃
42	〃 (ロイヤルシャトー伊丹)	池 尻	42	〃
43	〃 (パレ武庫川ブルミエール )	池 尻	175	〃
44	〃 (ほりの里)	池 尻	130	〃
45	〃 (池尻北東部)	池 尻	107	H18.5.1
46	〃 (ブランドール住宅)	池 尻	70	H20.9.1
47	池尻中部地区自主防災会 (県営小松原団地)	池 尻	350	H10. 6. 1
48	〃 (マイシティ武庫川レックスマンション)	池 尻	208	〃
49	〃 (エンゼルパークサイド 武庫川)	池 尻	60	〃

## 自主防災組織の結成状況(2)

No.	名 称	校 区	世帯数	結成年月日
51	池尻中部地区自主防災会 (県営伊丹西野高層)	池 尻	72	H10.6.1
52	" (西野第3鉄筋)	池 尻	39	"
53	" (西野第4鉄筋)	池 尻	20	"
54	" (外川原)	池 尻	105	"
55	" (西野5丁目)	池 尻	95	H16.7.1
56	池尻北部地区自主防災会 (西野関電)	池 尻	8	H10.6.1
57	" (小松原)	池 尻	65	"
58	" (西野西)	池 尻	103	"
59	" (西野北)	池 尻	32	"
60	" (西野団地)	池 尻	100	"
61	" (厚生年金住宅)	池 尻	50	"
62	" (ハレ武庫川ブルミエール)	池 尻	108	H11.6.24
63	県営野間団地自主防災会	昆陽里	390	H10.6.21
64	ろうきん昆陽コーポ地区自主防災会	撰 陽	210	H10.7.27
65	桑田自治会自主防災	天神川	350	H10.12.1
66	アルビス寺本地区自主防災会	花 里	613	H10.12.21
67	柏木町自治会自主防災会	南	365	H11.3.13
68	北野自治会自主防災会	天神川	1,350	H11.5.25
69	稲野自治会自主防災会	南	1,310	H11.6.10
70	西桑津高層自主防災会	神 津	275	H11.6.20
71	泉町・堤ヶ内自主防災会	撰 陽	501	H11.7.3
72	春日丘地区自主防災会	緑 丘	865	H11.7.8
73	緑ヶ丘自治会自主防災会	瑞 穂	1,300	H11.7.15
74	西安堂寺自治会自主防災会	笹 原	203	H11.7.20
75	シャルマンコーポ伊丹自主防災会	桜 台	318	H11.8.1
76	ヴィルヌーブ伊丹昆陽自主防災会	花 里	75	"
77	東安堂寺自治会自主防災会	笹 原	306	H11.8.10
78	あすなろセンター地区自主防災会 (畠中自治会)	笹 原	440	H11.9.1
79	" (佐々原自治会)	笹 原	115	"
80	" (車塚北自治会)	笹 原	275	"
81	" (あぜりあサンハイツ自治会)	笹 原	50	"
82	" (長沢自治会)	笹 原	150	"
83	阪急住宅自治会自主防災会	笹 原	502	"
84	千僧自主防災会	稲 野	650	"
85	コスモハイツ自主防災会	瑞 穂	165	"
86	千僧西自主防災会	稲 野	155	H11.9.10
87	野間自治会自主防災会	笹 原	500	H11.10.1
88	東野自治会自主防災会	荻 野	951	"
89	鈴原自主防災会	鈴 原	1,020	"
90	本五旭自主防災会	伊 丹	579	"
91	御願塚自主防災会	南	1,300	"
92	昆陽池西アーバンコンフォート自主防災会	花 里	98	H11.11.1
93	木ノ本自主防災会	撰 陽	288	"
94	昆陽池自主防災会	稲 野	250	H11.11.1
95	瑞穂・瑞ヶ丘自主防災会	瑞 穂	1,350	H11.11.9
96	中央自主防災会	伊 丹	556	H11.11.15
97	昆陽口自主防災会	伊 丹	79	H11.12.1
98	米屋町自主防災会	伊 丹	265	"
99	若菱自主防災会	南	302	H11.12.3
100	南町住宅自主防災会	南	110	H11.12.4

### 自主防災組織の結成状況(3)

No.	名 称	校 区	世帯数	結成年月日
101	昆陽道塚自主防災会	撰 陽	252	H11.12.10
102	桜ヶ丘自主防災会	伊 丹	700	H11.12.26
103	荒牧自主防災会	天神川	1,360	H11.12.26
104	西野自主防災会	桜 台	660	H12.1.15
105	西桑津自主防災会	神 津	270	H12.1.17
106	東桑津自主防災会	神 津	83	"
107	寺本自主防災会	花 里	735	H12.2.21
108	平松自主防災会	南	1,030	H12.3.1
109	南町高層自主防災会	有 岡	249	H12.6.9
110	日生荻野コーポラス自主防災会	鴻 池	82	H12.7.1
111	矢倉町自主防災会	笹 原	138	H12.7.13
112	第一中曽根自主防災会	笹 原	52	H12.7.25
113	中曽根自主防災会	笹 原	97	"
114	笹北自主防災会	笹 原	328	"
115	山道団地自主防災会	笹 原	66	"
116	宮西自主防災会	伊 丹	270	H12.7.28
117	千僧堂ノ前自主防災会	稲 野	149	H12.8.1
118	鴻池自主防災会	鴻 池	415	"
119	南野自主防災会	笹 原	1,336	H12.8.3
120	大野自主防災会	荻 野	980	H12.8.5
121	行基町南自主防災会	鈴 原	300	H12.8.7
122	第二美鈴自主防災会	撰 陽	352	H12.8.12
123	昆陽里自主防災会	昆陽里	162	H12.8.18
124	山田西在自主防災会	昆陽里	60	"
125	西鈴原自主防災会	鈴 原	460	H12.8.23
126	湊町自主防災会	有 岡	435	H12.8.28
127	新光明団地自主防災会	伊 丹	29	H12.8.30
128	市営桑津住宅自主防災会	神 津	110	"
129	住ベ山道自主防災会	笹 原	12	H12.9.1
130	コープ野村第2自主防災会	有 岡	137	"
131	西御願塚自主防災会	鈴 原	700	H12.9.3
132	鴻池公社住宅自主防災会	鴻 池	267	"
133	天神川団地自主防災会	桜 台	145	H12.9.5
134	新田中野住宅1号館自主防災会	鴻 池	50	H12.9.7
135	昆陽自主防災会	稲 野	1,050	"
136	山本団地伊丹地区自主防災会	荻 野	136	"
137	千僧5丁目ダイヤ自治会自主防災会	稲 野	102	H12.9.8
138	シルバーハイツ桃源荘自主防災会	桜 台	24	"
139	千僧コスモガーデンズ自主防災会	稲 野	207	H12.9.10
140	瑞原自主防災会	鴻 池	218	H12.9.14
141	高縄手自主防災会	天神川	270	H12.9.17
142	茶園自主防災会	伊 丹	200	H12.9.18
143	コンテ昆陽自主防災会	撰 陽	50	H12.9.20
144	車塚南自主防災会	笹 原	379	H12.9.30
145	アルビス伊丹千僧自主防災会	稲 野	367	H12.10.7
146	マイシティー伊丹自主防災会	桜 台	299	H12.10.8
147	塚口グリーンポリス自主防災会	昆陽里	56	H12.10.15
148	宮ノ前自主防災会	伊 丹	53	H12.11.14
149	グランドメゾン新伊丹自主防災会	南	136	H12.11.20
150	ルネ伊丹ガーデンスクエアIDSチーム	有 岡	223	H12.11.20

## 自主防災組織の結成状況(4)

No.	名 称	校 区	世帯数	結成年月日
151	岩屋自主防災会	神 津	90	H12.11.27
152	春日丘アーバンコンフォート自主防災会	緑 丘	337	H12.12.1
153	荻野自主防災会	荻 野	1,600	"
154	北村地区自主防災会	緑 丘	1,020	H12.12.12
155	西台自主防災会	伊 丹	1,600	H12.12.18
156	林自主防災会	南	230	H13.1.23
157	新伊丹住宅自主防災会	南	44	H13.1.24
158	昆陽南5丁目自主防災会	昆陽里	165	"
159	野間ダイヤハイツ自主防災会	昆陽里	72	"
160	伊丹ロイヤルマンション自主防災会	昆陽里	88	"
161	下河原自主防災会	緑 丘	223	H13.2.1
162	伊丹パークホームズ自主防災会	伊 丹	119	"
163	口酒井自主防災会	神 津	280	H13.3.25
164	郵政美鈴自主防災会	鈴 原	16	H13.4.1
165	大鹿自主防災会	緑 丘	1,510	H13.5.15
166	スワンハイム昆陽自主防災会	花 里	117	H13.6.1
167	ラ・ヴェール伊丹昆陽池自主防災会	桜 台	260	H13.6.8
168	野間南自主防災会	笹 原	300	H13.6.17
169	野間東向自主防災会	笹 原	160	H13.6.24
170	池尻南自主防災会	花 里	139	H13.9.1
171	第一美鈴自主防災会	鈴 原	202	H13.11.17
172	伊丹みやのまち4号館自主防災会	伊 丹	90	H13.12.9
173	光明町自治会自主防災会	伊 丹	160	H14.2.13
174	上須古自主防災会	神 津	28	H14.4.1
175	長山自主防災会	神 津	150	H14.5.1
176	南町自主防災会	南	410	H14.7.1
177	鴻池団地A棟自主防災会	鴻 池	130	H14.8.1
178	日生住宅自主防災会	昆陽里	210	H14.11.2
179	東緑ヶ丘自主防災会	瑞 穂	187	H14.12.6
180	西玉田自主防災会	鴻 池	345	H15.1.28
181	堀池自主防災会	撰 陽	600	H15.2.17
182	昆陽大池自主防災会	瑞 穂	58	H15.3.1
183	清水地区自主防災会	伊 丹	371	H15.3.5
184	伊丹バラ公園パークホームズ自主防災会	天神川	43	H15.6.1
185	伊丹みやのまち3号館自主防災会	伊 丹	117	H15.7.12
186	パレス新伊丹自主防災会	有 岡	146	H15.9.1
187	県営中野団地自主防災会	桜 台	229	H15.9.15
188	大手町自主防災会	有 岡	83	H16.2.15
189	荻野西自主防災会	天神川	324	H16.3.25
190	池尻東自主防災会	花 里	37	H16.4.1
191	伊丹池尻公社住宅自主防災会	花 里	70	H16.4.20
192	コープ野村昆陽自主防災会	稲 野	113	H16.6.16
193	南畑自主防災会	鴻 池	63	H16.7.30
194	サン伊丹自主防災会	有 岡	185	H16.8.1
195	東中田自主防災会	稲 野	84	H16.11.15
196	鴻池南住宅自主防災会	鴻 池	40	H16.11.18
197	北本町地区自主防災会	伊 丹	164	H16.12.29
198	昆陽林田地区自主防災会	稲 野	62	H17.2.1
199	伊丹昆陽ビューハイツ自主防災会	花 里	98	H17.5.25
200	荒牧高層自主防災会	天神川	240	H17.7.4

## 自主防災組織の結成状況(5)

No.	名 称	校 区	世帯数	結成年月日
201	南荻野ハイツ自主防災会	鴻池	50	H17.7.14
202	戎地区自主防災会	伊丹	320	H17.8.1
203	レピアアーバン自主防災会	笹原	222	H17.11.12
204	伊丹ステイツバラ公園自主防災会	天神川	52	H17.11.28
205	ウェルスクエア伊丹自主防災会	南	274	H19.3.12
206	寺本東地区自主防災会	昆陽里	350	H19.11.1
207	レスタージュ伊丹自主防災会	伊丹	284	H20.4.1
208	新光明町自主防災会(注1)	伊丹	135	H23.4.26
計 207自治会(注2)			64,424	

(注1)新光明町自主防災会は、基準日以降に結成

(注2)コープ野村第2自主防災会は自治会未結成であるもの

## 小学校区別自主防災組織結成地域の世帯数

校区名称	世帯数	小学校名	世帯数
伊丹小学校区	8,339	有岡小学校区	4,947
稲野小学校区	4,840	花里小学校区	3,358
南小学校区	6,175	昆陽里小学校区	3,799
神津小学校区	2,590	撰陽小学校区	3,822
緑丘小学校区	4,481	鈴原小学校区	3,363
桜台小学校区	4,959	荻野小学校区	4,321
天神川小学校区	5,447	池尻小学校区	4,280
笹原小学校区	7,177	鴻池小学校区	3,492
瑞穂小学校区	5,419	計	80,809

(注)上記は住民基本台帳に基づく集計によるもの

## 自主防災組織

大規模な災害が起きたときに、地域の人々がお互いに助け合い、被害を軽減するために結成された組織です。「自分たちの地域は自分達で守ろう」とする住民の自主的な活動で、いざという時は初期消火、応急手当、避難誘導等を行います。

平素は、初期消火や応急手当の訓練など、地域での防災活動を行います。

## 自主防災組織の活動状況

(H22.4.1～H23.3.31)

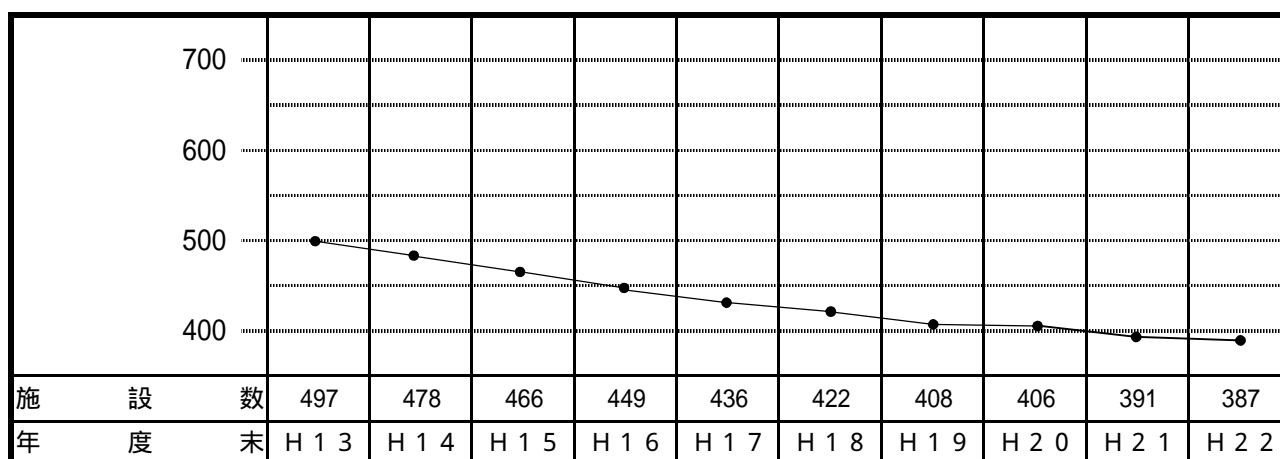
種 別	回数(注)	参加者数
消火訓練	382	6,895
通報訓練	125	3,419
避難誘導訓練	344	6,526
救出救護訓練	245	3,217
応急手当訓練	308	3,892
防火講話等(出前講座含む)	8	307
消防出初式参加(H23.1.8 開催)	26	156
リーダー養成講座(H22.9.11・18 開催)	40	52
リーダー推進大会(H23.2.15 開催)	83	136
計(延べ)197組織	1,561	24,600

### 製造所等区別完成検査施設数

(H23.3.31現在)

区 分		施 設 数	20	40	60	80	100	120	
製	造 所	9	[Bar chart showing 9 units]						
貯	屋 内	102	[Bar chart showing 102 units]						
	屋 外 タ ン ク	47	[Bar chart showing 47 units]						
	屋 内 タ ン ク	5	[Bar chart showing 5 units]						
	地 下 タ ン ク	63	[Bar chart showing 63 units]						
	簡 易 タ ン ク	0	[Bar chart showing 0 units]						
	移 動 タ ン ク	39	[Bar chart showing 39 units]						
	屋 外	5	[Bar chart showing 5 units]						
所	小 計	261	[Total bar chart for storage]						
取	給 営 業	21	[Bar chart showing 21 units]						
	油 自 家	31	[Bar chart showing 31 units]						
	販 一 種	1	[Bar chart showing 1 unit]						
	売 二 種	1	[Bar chart showing 1 unit]						
	一 般	61	[Bar chart showing 61 units]						
	所	小 計	115	[Total bar chart for distribution]					
合	計	385	[Total bar chart for all facilities]						

### 許可施設数の推移(過去10年)



## 防火地域別許可施設数

(H23.3.31現在)

区分 地域別	合 計	製 造 所	貯 蔵 所							取 扱 所					
			屋 内	屋 外 タ ン ク	屋 内 タ ン ク	地 下 タ ン ク	簡 易 タ ン ク	移 動 タ ン ク	屋 外	給油		販 売		一 般	
										営 業	自 家	一 種	二 種		
総 数	387	9	103	47	5	63	0	39	5	21	32	1	1	61	
合 計	防 火	0													
	準 防 火	4				2				2					
	指定なし	383	9	103	47	5	61	0	39	5	19	32	1	1	61
東 部 消 防 署	小 計	251	8	67	47	4	37	0	25	1	10	18	1	0	33
	防 火	0													
	準 防 火	4					2				2				
	指定なし	247	8	67	47	4	35	0	25	1	8	18	1	0	33
西 部 消 防 署	小 計	136	1	36	0	1	26	0	14	4	11	14	0	1	28
	防 火	0													
	準 防 火	0													
	指定なし	136	1	36	0	1	26	0	14	4	11	14	0	1	28

## 危険物施設査察状況

(H22.4.1～H23.3.31)

区 分	合 計	製 造 所	貯 蔵 所							取 扱 所		
			屋 内	屋 外 タ ン ク	屋 内 タ ン ク	地 下 タ ン ク	簡 易 タ ン ク	移 動 タ ン ク	屋 外	給 油	販 売	一 般
査 察 対 象 施 設	391	9	101	47	6	65	0	40	4	53	2	64
査 察 回 数	294	9	100	14	4	23	0	30	4	50	2	58
査 察 実 施 率	75.2%	100.0%	99.0%	29.8%	66.7%	35.4%	0.0%	75.0%	100.0%	94.3%	100.0%	90.6%

## 県移譲事務処理状況

(H22.4.1～H23.3.31)

区 分	届 出 及 び 査 査 数
液 化 石 油 ガ ス 設 備 工 事 届 出 ( 5 0 0 k g を 超 え 3 0 0 0 k g 未 満 )	届 出 数 1 件 査 査 数 1 件
高 圧 ガ ス 消 費 施 設 立 入 査 査	査 査 数 9 件
火 薬 類 貯 蔵 施 設 立 入 査 査	査 査 数 1 件

# 用途地域別許可施設数

(H23.3.31現在)

区分 地域別	合計	製造所	貯蔵所							取扱所					
			屋内	屋外タンク	屋内タンク	地下タンク	簡易タンク	移動タンク	屋外	給油		販売		一般	
										営業	自家	一 種	二 種		
総数	387	9	103	47	5	63	0	39	5	21	32	1	1	61	
合計	工業	174	8	57	32	4	17		6	5	1	6		38	
	準工業	123	1	37	15		21		19		3	14	1	12	
	商業	3					2				1				
	近隣商業	3					1				2				
	準住居	6									4	2			
	二種住居	47		5		1	16		6		7	5		1	6
	一種住居	5					2				2				1
	二種中高	13		1			3		1		1	4			3
	一種中高	4		1			1					1			1
	二種低層	2		2											
	一種低層	7							7						
小計	251	8	67	47	4	37	0	25	1	10	18	1	0	33	
東消防署	工業	122	7	30	32	4	14		6	1	1	6		21	
	準工業	109	1	32	15		17		19		3	10	1	11	
	商業	3					2				1				
	近隣商業	3					1				2				
	準住居	2									1	1			
	二種住居	2		1			1								
	一種住居	1									1				
	二種中高	4		1			1				1	1			
	一種中高	3		1			1								1
	二種低層	2		2											
	一種低層	0													
小計	136	1	36	0	1	26	0	14	4	11	14	0	1	28	
西消防署	工業	52	1	27			3			4				17	
	準工業	14		5			4				4			1	
	商業	0													
	近隣商業	0													
	準住居	4									3	1			
	二種住居	45		4		1	15		6		7	5		1	6
	一種住居	4					2				1				1
	二種中高	9					2		1			3			3
	一種中高	1										1			
	二種低層	0													
	一種低層	7							7						

## 事務処理状況

(H22.4.1～H23.3.31)

区 分	計	製 造 所	貯 蔵 所	取 扱 所	そ の 他
計	897	60	129	636	72
設 置 許 可	4		3	1	
変 更 許 可	111	17	8	86	
設 置 完 成 検 査	2		2		
変 更 完 成 検 査	98	14	9	75	
仮 使 用 承 認	106	17	6	83	
完 成 検 査 前 検 査	8				8
仮貯蔵・仮取扱承認	27			1	26
譲 渡 ・ 引 渡 届	3		2	1	
品 名 ・ 数 量 変 更 届	34	1	5	28	
廃 止 届	7		3	4	
保安監督者選解任届	42	3	20	19	
管 理 者 届	6		3	3	
軽 微 変 更 届	258	7	37	214	
作 業 施 行 届	2		1	1	
休 止 ・ 再 使 用 届	2			2	
予 防 規 程 認 可	5		1	4	
消 防 設 備 着 工 届	6	1		5	
再 交 付 申 請	0				
漏 洩 措 置 計 画 届	5		2	3	
危 険 物 取 扱 責 任 者 届	15		15		
事 故 発 生 届	2			2	
火 気 使 用 工 事 届	99			99	
許 可 取 下 げ 願	0				
特 例 認 定 申 請	0				
そ の 他	55		12	5	38

## 危険物関係手数料

(H22.4.1～H23.3.31)

区 分	件 数	収 入 額 (単 位 : 円)
設 置 許 可	4	111,000
変 更 許 可	108	2,645,000
設 置 完 成 検 査	2	16,500
変 更 完 成 検 査	95	1,172,750
完 成 検 査 前 検 査	8	62,000
仮 使 用 承 認	103	556,200
仮 貯 蔵 ・ 仮 取 扱	27	145,800
条 例 タ ン ク 検 査	0	0
合 計	347	4,709,250



# 火災統計



## 火災概要

平成22年中の火災発生件数は71件で、前年(70件)に比べ1件の増加となっており、焼損面積は2,406㎡で、前年(191㎡)に比べ2,215㎡の増加となっています。

火災による死者は2名で、前年(1名)に比べ1名の増加、また、負傷者は14名で、前年(3名)に比べ11名の増加となっています。

次に、出火原因では、都市型火災原因の上位ランクとされている放火によるものが28件で全火災の約39%を占め、次いでこんろ、たばこともに7件となっています。

損害額は130,260千円で、前年(40,911千円)より89,349千円増加しており、火災1件当たりでは約1,835千円となっています。

全国的に火災発生件数、死者数、建物焼損面積及び損害額について、おおむね減少傾向にあります。本市においては大型倉庫火災等の発生により、前年に比べ建物焼損面積及び損害額が大幅に増加しています。

火災件数	71 件	
内訳	建物火災件数	38 件
	車両火災件数	8 件
	航空機火災件数	0 件
	その他火災件数	25 件
建物焼損面積	2,406 ㎡	
焼損棟数	43 棟	
損害額	130,260 千円	
り災世帯数	41 世帯	
り災人員	106 人	
死者	2 人	
負傷者	14 人	

### < 火災 1 件当たり >

建物焼損面積	63.3 ㎡
損害額(全火災)	1,835 千円
(建物火災)	3,370 千円
焼損棟数	1.1 棟
り災世帯数	1.1 世帯
り災人員	2.7 人

建物火災以外で発生した損害2,213千円、り災1世帯・2人を含まない

### < 人口 1 万人当たり >

火災件数出火率	3.6 件
建物焼損面積	122.7 ㎡
焼損棟数	2.2 棟
損害額	6,641 千円
り災世帯数	2.1 世帯
り災人員	5.4 人
死傷者	0.8 人

H23.01.01 推計人口 196,148人

原因別・覚知別等火災発生状況

(H22.1.1 ~ H22.12.31)

区分	たばこ	かま	風呂	かま	焼却炉	ストーブ	こたえ	ボイラー	煙突・煙道	排気管	電気機器	電気装置	電灯・電話等の配線	内燃機	配線器具	火あそび	マッチ・ライター	たき火	溶接機・溶断機	灯	衝突	取灰	火入れ	放火	放火の疑い	その他の	不明・調査中	計	火災報知専用電話(加入)	火災報知専用電話(携帯)	警察電話専用	加入電話(加入電話)	加入電話(携帯電話)	駆け付け	事後	その他		
計	71	7	7	1			2			2	3	3	1	3	3	2			1	1			28	4	9	4	71	24	21	4	2	4		15	1			
1月	8	1																	1				4	1	1	8	3	1		1			3					
2月	6				1								1						1				3	1	1	6	2	1		1		1		2				
3月	7	1														1			1				1		1	7	4			1		1		2				
4月	5		1												1								2		1	5	3			1				1				
5月	6			1							1												3		1	6	1	4						1				
6月	5	1																		1			3		3	5	2	1	1				1		1			
7月	6	3																					2		2	6	1	2		2				1				
8月	2		1							1																2	1	1										
9月	8				1						1												3		1	8	2	3		1			1		1			
10月	4		1												1								2		4	1	1							2		2		
11月	4										1												2		2	1	4	2	1						1		1	
12月	10	1	1							1					1	1							3		2	10	2	6	1							1		
計	71	7	7	1			2			2	3	3	1	3	3	2				1	1		28	8	9	4	71	38	8				25					
建物	38	4	7	1			2			2	3	3	1	3	3	2				1	1		8	3	6	4	39	21	4				14					
車両	8						2			2					3					1	1		2		3	4	10	2	6	1								
船舶																																						
航空機																																						
その他	25	3														2							18	2	2													
計	71	7	7	1			2			2	3	3	1	3	3	2				1	1		28	8	9	4	71	38	8				25					
東消防署	39	6	3				1			1	1	1	1	2	2					1	1		11	4	6	4	39	21	4				14					
本署	15	2	1				1			1					1	2							3	3	3	2	15	9	2				4					
神津	12	2	1								1				1					1			4	1	1	1	12	5					7					
南野	12	2	1								1		1		1								4	4	2	1	12	7	2				3					
西消防署	32	1	4	1			2			1					1								17	3	3	32	17	4				11			11			
本署	11	1	1				1				1				1								5	1	1	11	6	1				4			4			
池尻	8		1				1			1													4			8	5	2				1			1			
荒牧	13	2	1																				8	2	2	13	6	1				6						

火災報知専用電話(加入)は、加入電話及びIP電話による119番通報を含む



## 発火源・経過・着火物別火災発生状況

(H22. 1. 1～H22. 12. 31)

区分	発火源	計	経過	計	着火物	計
電気関係	電気こたつ	2	コードが短絡する	1	繊維製品	1
			可燃物が火源の上に転倒落下	1	粉塵	1
	溶接機	1	火花が飛ぶ	1	マグネシウム	1
	エアコンプレッサ	1	故障	1	合成樹脂と成形品	1
	その他の電気機器	2	構造不良	1	配線絶縁被覆	1
			電線が短絡する	1	分岐ブレーカー	1
	延長コード及びプラグ	3	半断線により発熱する	1	カーテン	1
	その他の配線器具	1	スパークする(トラッキング現象)	2	合成樹脂と成形品	2
			接続端子の短絡する	1	配線絶縁被覆	1
摩擦による静電スパーク	1	スパークによる引火	1	可燃性気体	1	
とガス油類を燃料とする道具装置	ガステーブル(都市ガス・移動可能)	4	放置する・忘れる	6	動植物油類	6
	ガステーブル(液化石油ガス・移動可能)	2				
	浴室外設置型風呂釜(液化石油ガス・固定ガス設備)	1	液化石油ガスの漏洩	1	液化石油ガス	1
	アルコールこんろ	1	火源に触れる	1	衣類	1
	灯明	1	火源が転倒落下する	1	木材及び木製品	1
火種・高温危険物	炭火	1	不適當なところに捨て置く	3	合成樹脂と成形品	1
	燃えさし	2			可燃性個体類	1
					ごみ類	1
	火のついた油	1	火源が動いて接触する	1	油塵	1
	たばこ	7	火源が転倒落下する	2	ふとん	2
			不適當なところに捨て置く	4	ベンチ	1
					ごみ屑	2
					枯草	1
	残り火の処置が不始末	1	ゴミ類	1		
	マッチ・ライター等	30	放火	28	すだれ	1
					第一石油類	2
					袋及び紙製品	1
					繊維製品	1
					合成樹脂と成形品	2
					ごみ屑	1
落葉					1	
立木					6	
芝生					1	
枯草					2	
ごみ類	7					
自動車部品	3					
火遊び	2	立木	1			
		落葉	1			
金属と金属との衝突火花	3	引火する	3	LPG(カセット用)	2	
排気管	2	LPG(スプレー用)	1			
		着火物が漏洩する	2	第四石油類	2	
煙火	1	火花が飛ぶ	1	枯草	1	
その他	4	不明	4	衣類	1	
				不明	3	
計		71		71		71

## 過去10年間の火災発生状況

(各年1.1~12.31)

年別	項目 計	建 物	車 両	航 空 機	そ の 他	り災状況		焼 損 面 積 (㎡)	損 害 額 (千円)	死 傷 者		出 火 率	1件当たり	
						焼 損 棟 数	世 帯 数			死 者	負 傷 者		建物焼 損面積 (㎡)	損害額 (千円)
平成13年	69	39	12		18	45	47	531	53,652		16	3.6	13.6	778
平成14年	78	56	3		19	62	52	648	96,114		9	4.1	11.6	1,232
平成15年	100	66	11		23	80	50	1,188	120,490		3	5.2	18.0	1,205
平成16年	62	35	6		21	44	30	427	23,419		7	3.2	12.2	378
平成17年	82	55	6	1	20	61	54	2,783	257,361	2	10	4.3	50.6	3,139
平成18年	102	50	12		40	52	38	300	49,971	3	9	5.3	6.0	490
平成19年	89	49	8		32	62	66	1,050	152,228	4	15	4.6	21.4	1,710
平成20年	85	46	9		30	54	50	1,208	44,854	2	12	4.4	26.3	528
平成21年	70	38	6		26	45	31	191	40,911	1	3	3.6	5.0	584
平成22年	71	38	8		25	43	41	2,406	130,260	2	14	3.6	63.3	1,835
平均	80.8	47.2	8.1	0.1	25.4	54.8	45.9	1,073	96,926	1.4	9.8	4.2	22.8	1,188

出火率：人口 1万人当たりの出火件数

## 過去10年間の火災原因別発生状況

(各年1.1~12.31)

年別 順位	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年
1位	放火	放火	放火	放火	放火	放火	放火	放火	放火	放火
	26	20	45	23	33	55	38	41	37	28
2位	ガス こんろ	たばこ	こんろ	たばこ	こんろ	たばこ	たばこ	たばこ	こんろ	こんろ
	9	11	13	11	10	9	9	8	7	7
3位	火遊び	ガス こんろ	たばこ	こんろ	たばこ	こんろ	こんろ	こんろ	たばこ	たばこ
	5	9	11	7	7	8	7	7	6	7
4位	灯火	電灯 配線	配線 器具	電気 関係	ストーブ	電灯 配線	火遊び	ストーブ	火遊び	配線 器具
	4	7	4	3	3	5	4	6	4	3
5位	たばこ	火遊び	マッチ ライター たき火	ライター たき火 ストーブ	火遊び	ストーブ 電気機器 火遊び	灯火	電灯・電 話 火遊び	溶接機 ・ 溶断機	電気 装置
	3	6	3	2	3	3	3	3	2	3

## 過去10年間の主な火災発生状況

	発 生 年 月 日	出火場所	原 因	建物用途	建物 構造	損害額 (千円)	焼損面積 (m <sup>2</sup> )	焼損棟	り災 世帯	り災 人員	死者
1	平成15年 9月27日	西 野	不 明 火	倉 庫	準耐	65,795	803	6			
2	平成17年 3月26日	野 間	こ ん ろ	併用住宅	木造	28,112	189	1	1	3	2
3	平成17年 9月8日	高 台	不 明 火	作 業 場	準耐	165,654	1,584	2	7	24	
4	平成17年 9月18日	口 酒 井	放 火	事 務 所	準耐	13,491	642	2			
5	平成18年 1月12日	中 野 東	た ば こ	共同住宅	耐火	107	7	1	1	1	1
6	平成18年 4月13日	東 有 岡	た ば こ	長屋住宅	防火	2,810	27	1	1	3	1
7	平成19年 3月21日	北 野	配線器具	共同住宅	耐火	1,034	6	1	1	4	1
8	平成19年 4月28日	北 野	灯 火	長屋住宅	木造	1,090	19	2	2	4	2
9	平成19年 11月14日	中 野 東	不 明 火	共同住宅	耐火	16,049	38	1	9	28	1
10	平成20年 2月17日	北 園	ス ト ー プ	専用住宅	木造	175	44	2	3	3	1
11	平成20年 9月29日	中 野 東	不 明 火	事 務 所 兼 作 業 場	準耐	6,266	735	2	4	9	
12	平成22年 1月2日	中 央	不 明 火	福祉施設	耐火	1,946	48	1	8	10	1
13	平成22年 6月10日	御 願 塚	灯 火	専用住宅	木造	3,701	63	3	3	7	1
14	平成22年 9月5日	森 本	不 明 火	倉 庫 兼 事 務 所	準耐	107,104	2,200	4	8	32	

備考 抽出基準：焼損面積300m<sup>2</sup>以上、または死者の生じた火災

# 救急統計



## 救急概要

平成22年中の救急出動件数は8,516件で、前年(7,881件)に比べ、635件の増加となっています。

1日の平均出動件数は23件となり、これは市民23人に1人の割合で救急車が利用されたこととなります。

事故種別での出動状況は、急病が5,160件、次いで一般負傷1,128件、交通事故1,030件の順となっており、急病が全体の61%を占めています。

搬送人員の総数は7,906人で、傷病程度別では、入院加療を必要としない「軽症」が4,742人で全体の60%を占め、医療機関別の搬送状況では4,285人が市内の救急告示病院に収容され、全体の54%を占めています。

## 署所別出動状況

(H22.1.1~H22.12.31)

区分	事故種別	計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	
													転院	その他
出動件数		8,516	13			1,030	68	52	1,128	66	99	5,160	811	89
署所別	東消防署	2,132	2			251	26	11	283	18	29	1,351	122	39
	南野出張所	2,238	6			222	12	9	292	16	18	1,417	229	17
	西消防署	2,268				344	19	15	271	19	16	1,267	301	16
	荒牧出張所	1,878	5			213	11	17	282	13	36	1,125	159	17
不搬送件数		675	2			69	2	1	74	9	23	406	4	85
搬送人員		7,906	12			1,015	66	54	1,054	59	76	4,758	807	5
署所別	東消防署	1,969	2			251	26	11	269	17	21	1,247	122	3
	南野出張所	2,046	7			212	12	9	268	13	14	1,284	227	
	西消防署	2,143				344	18	16	256	20	11	1,176	300	2
	荒牧出張所	1,748	3			208	10	18	261	9	30	1,051	158	
構成比%(出動件数)		100	0.2	0.0	0.0	12.1	0.8	0.6	13.2	0.8	1.2	60.6	9.5	1.0
平成21年出動件数		7,881	3			899	56	39	1,078	67	122	4,711	801	105

### 曜日・覚知別救急出動状況

(H22.1.1~H22.12.31)

区分	事故種別	計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	
													転院	その他
計		8,516	13			1,030	68	52	1,128	66	99	5,160	811	89
曜日別	月	1,253	3			140	9	2	146	9	13	773	150	8
	火	1,234				177	14	6	150	10	16	723	127	11
	水	1,062	1			141	8	1	146	8	11	636	94	16
	木	1,241	3			149	11	6	158	7	15	765	111	16
	金	1,283	2			166	13	3	163	8	12	747	158	11
	土	1,206	3			140	6	19	189	11	16	715	98	9
	日	1,237	1			117	7	15	176	13	16	801	73	18
覚知別	119 専用	3,395	3			86	26	18	428	10	29	2,260	514	21
	119(携帯)	2,492	1			716	30	31	365	35	41	1,231	4	38
	119( I P )	2,045	4			71	11	3	281	8	21	1,533	108	5
	一般加入	286				12			23			65	184	2
	警察専用	188				113			16	12	7	32		8
	駆け付け	51				6	1		8		1	35		
	自己覚知	44	5			26			7	1		4	1	
	その他	15												

### 年齢別搬送状況

(H22.1.1~H22.12.31)

区分	事故種別	計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	
													転院	その他
計(人)		7,906	12			1,015	66	54	1,054	59	76	4,758	807	5
新生児		22							2			4	15	1
乳幼児		579				45			151			288	95	
少年		347				113		27	54	7	1	110	35	
18才~24才		357	1			131	6	9	15	14	7	154	20	
25才~34才		570	3			145	11	5	26	6	17	324	31	2
35才~44才		725				155	12	7	59	11	24	416	39	2
45才~54才		620	3			123	11	4	58	8	11	364	38	
55才~64才		977	2			114	20	1	97	6	11	644	82	
65才以上		3,709	3			189	6	1	592	7	5	2,454	452	

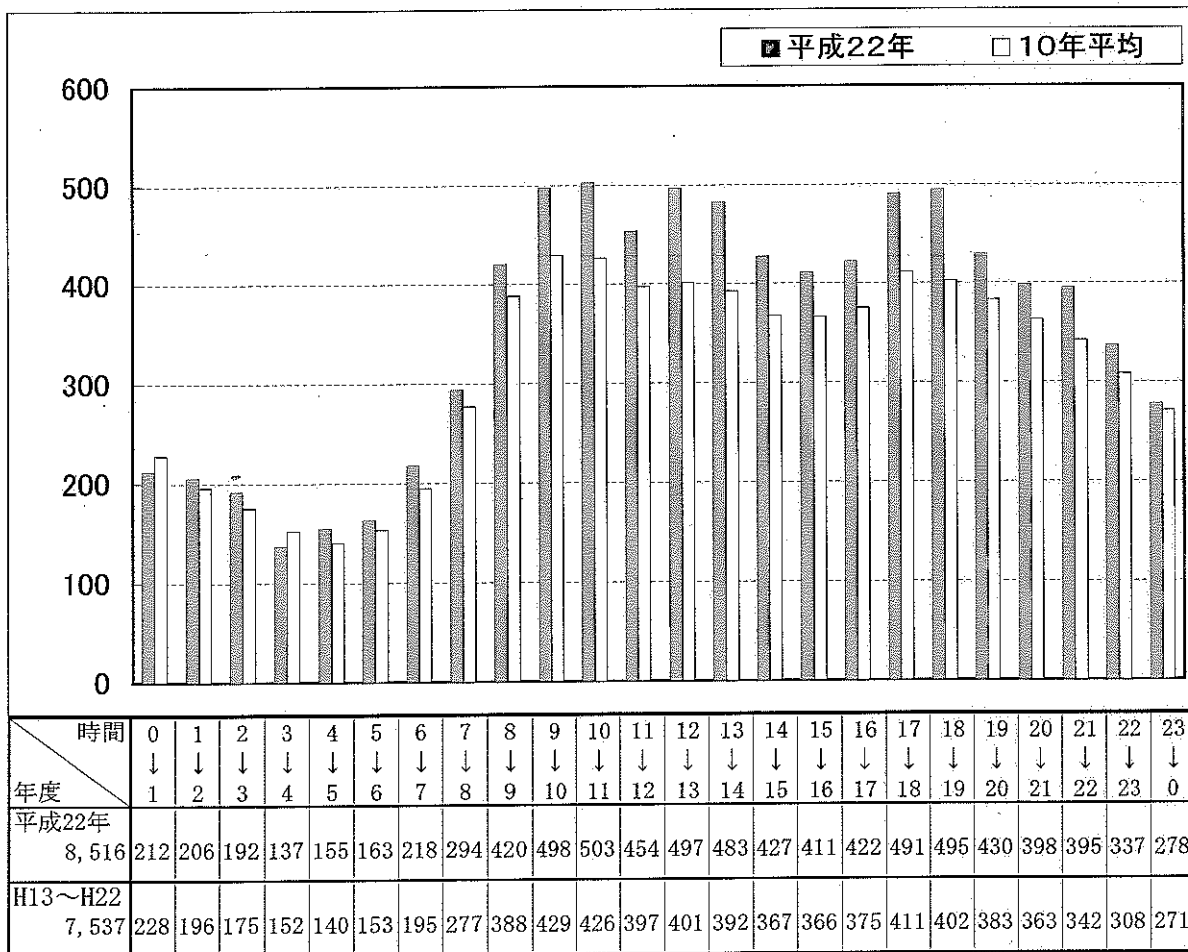
新生児(生後28日以内)、乳幼児(生後29日以上7才未満)、少年(満7才以上18才未満)

○ 傷病程度別搬送状況

(H22. 1. 1～H22. 12. 31)

区分	事故種別	計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	
													転院	その他
計		7,906	12			1,015	66	54	1,054	59	76	4,758	807	5
死亡		84							6		13	64	1	
重症		403				32	6	1	90	2	8	168	96	
中等症		2,675	6			110	18	7	208	11	30	1,617	663	5
軽症		4,742	6			873	42	46	749	46	25	2,908	47	
その他		2							1			1		

○ 時間別救急出動状況



○ 科目別搬送状況

(H22.1.1~H22.12.31)

区分	科別	計	外	内	小	産	耳	精神	眼	泌	そ
			科	科	児	婦	鼻	神	科	尿	の
			科	科	科	人	咽	経	科	器	他
			科	科	科	科	喉	科	科	科	科
搬送人員		7,904	3,341	3,672	510	84	76	29	19	148	25
百分比(%)		100.0	42.3	46.4	6.4	1.1	1.0	0.4	0.2	1.9	0.3
H12~H21 10年間 (平均搬送人員)		7,155	2,953	3,367	487	81	82	35	25	98	26
平均百分比(%)		100	41.3	47.1	6.8	1.1	1.1	0.5	0.3	1.4	0.4

※医療機関外搬送2名計上せず

○ 収容医療機関別搬送人員

(H22.1.1~H22.12.31)

告示 の別	事故種別等 開設者別	計		急病		交通		一般負傷		その他	
		うち	うち	うち	うち	うち	うち	うち	うち		
		管外	管外	管外	管外	管外	管外	管外	管外		
救急告示 医療機関	計	5,547	1,262	3,589	754	543	111	663	100	752	297
	国立	19	19	6	6	1	1	1	1	11	11
	公立	3,106	468	2,268	255	179	46	262	38	397	129
	公的	484	9	368	5	14		43	2	59	2
	私 的病院	1,902	766	924	488	345	64	350	59	283	155
	私 的診療所	36		23		4		7		2	
その他の 医療機関等	計	2,359	1,297	1,169	740	472	140	391	155	327	262
	国立	46	46	27	27	1	1	2	2	16	16
	公立	497	385	361	253	37	37	50	46	49	49
	公的	12	12	7	7			1	1	4	4
	私 病院	1,116	820	583	432	158	95	165	102	210	191
	私 的診療所	686	32	190	20	276	7	172	3	48	2
	その他接骨院等	1	1					1	1		
	上記以外の場所	1	1	1	1						
合計	7,906	2,559	4,758	1,494	1,015	251	1,054	255	1,079	559	

## 救急隊員の行った応急処置状況

(H22.1.1～H22.12.31)

種 別	区 分	合計	急病	交通	一般	その他
搬 送 人 員		7,906	4,758	1,015	1,054	1,079
応急処置対象人員		7,900	4,757	1,010	1,054	1,079
応急処置対象件数計		28,246	17,277	3,486	3,608	3,875
止 血		109	24	24	39	22
固 定		203	3	114	56	30
人 工 呼 吸		8	3		2	3
心臓マッサージ						
心臓マッサージ(うち自動)						
心 肺 蘇 生		133	100	1	15	17
心肺蘇生(うち自動)						
酸 素 吸 入		1,394	921	44	75	354
気 道 確 保		201	139	5	24	33
気道確保 0		173	124	5	13	31
気道確保 1		7	6			1
気道確保 2		10	1		9	
気道確保 3		11	8		2	1
気道確保 4						
保 温		36	22	3	5	6
被 覆		713	27	320	306	60
在 宅 療 法		31	26		4	1
在宅療法 A		4	3			1
在宅療法 B		27	23		4	
ショックパンツ						
除 細 動		15	13		2	
静脈路確保		5	4		1	
薬 剤 投 与		3	3			
その他応急処置		7,630	4,709	910	1,002	1,009
血 圧 測 定		7,213	4,436	938	899	940
聴 診 器 聴 取		711	500	73	63	75
血中酸素飽和度測定		7,734	4,658	1,001	1,016	1,059
心 電 図 測 定		2,107	1,689	53	99	266

備考 0：簡易のみ 1：経鼻エアウェイ 2：異物除去  
 3：ラリングアルマスク等を使用しての気道確保 4：認定救急救命士が行った気管挿管  
 A：在宅中心静脈栄養管理・在宅化学療法等により点滴が施されている者及び気管切開孔・気管ろう・人工肛門等の外ろう処置が施されている者に行った処置件数  
 B：A以外の者に対して行った処置件数

## 救急講習会実施状況（過去5年間）

（各年1.1～12.31）

年別	講習区分	実施回数	受講団体数	受講者数	実施時間数	隊員派遣数
平成18年	普及員	1		29	24	11
	普通救命	46	46	1,082	140	98
	その他	95	95	3,218	159	413
平成19年	普及員	1		37	24	11
	普通救命	53	53	1,452	182	149
	その他	119	119	5,104	198	485
平成20年	普及員	1		32	24	17
	普通救命	74	74	1,979	232	135
	その他	126	126	4,817	213	535
平成21年	普及員	1		22	24	14
	普通救命	101	101	2,155	303	136
	その他	83	83	3,488	128	335
平成22年	普及員	1		23	24	14
	普通救命	67	67	1,584	232	70
	その他	70	70	3,377	122	289
計		839	834	28,399	2,029	2,712

備考：・普及員とは、事業所や防災組織等において、当該従業員や構成員に対して応急手当の普及指導を行う者を養成する講習をいう。

・普通救命とは、応急手当の普及啓発活動の実施要綱に基づく、修了証の交付対象となる講習をいう。

・その他とは、上記以外の講習をいう。

## 過去10年間の救急出動状況

（各年1.1～12.31）

種別 区分	計	火 災	自然 災害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	その他	
												転 院	そ の 他
平成13年	6,266	9		1	1,065	69	39	759	62	98	3,649	436	79
平成14年	6,561	9			1,004	70	53	771	71	120	3,942	475	46
平成15年	7,018	2		1	1,065	64	57	872	65	95	4,162	581	54
平成16年	7,517	5			1,061	68	57	937	87	101	4,552	598	51
平成17年	7,909	5			1,076	75	57	980	91	131	4,766	648	80
平成18年	8,041	7			1,031	73	54	1,020	52	117	4,908	685	94
平成19年	8,061	15			1,011	85	66	1,025	60	93	4,934	709	63
平成20年	7,610	10			961	80	65	1,020	63	113	4,492	726	80
平成21年	7,881	3			899	56	39	1,078	67	122	4,711	801	105
平成22年	8,516	13			1,030	68	52	1,128	66	99	5,160	811	89
計	75,380	78		2	10,203	708	539	9,590	684	1,089	45,276	6,470	741
平均	7,538	8	0	0	1,020	71	54	959	68	109	4,528	647	74
百分比(%)	100	0.1	0.0	0.0	13.5	0.9	0.7	12.7	1.0	1.4	60.1	8.6	1.0

# 救助統計



## 救助概要

平成22年中の救助出動件数は89件で、前年(80件)に比べ、9件の増加となっています。このうち救助活動を要した災害件数等は45件で、前年(46件)に比べ、1件の減少となっており、救助人員は63人で、前年(42人)に比べ、21人の増加となっています。

当市においては、あらゆる救助事象に対処できるよう救助隊員の技術の向上に努めるとともに、資機材及び装備の充実を図っています。

## 事故種別救助出動状況

(H22.1.1~H22.12.31)

事故種別	月別	計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
計		89	2	11	6	11	4	10	6	7	10	4	5	13
火災		8	1	1	1	1		2			1			1
交通事故		11		1		1	1	1	1	1	1		1	3
水難事故														
自然災害														
機械等による事故														
ガス・酸欠事故														
爆発事故														
建物による事故		26		3	2	3		1	4	1	5	3	2	2
その他	救助活動無し火災	14	1	1	1	2	2		1	1	2		1	2
	警戒出動	8		3				1				1	1	2
	ドアの施錠等	11		2		2	1	2		3				1
	その他の事故	11			2	2		3		1	1			2
出動車両台数	382	16	42	30	44	12	54	29	26	47	13	16	53	
活動件数	45	1	5	4	6		4	4	2	6	2	3	8	
出動人員	1204	54	127	93	140	33	172	93	78	153	38	50	173	

## 事故種別救助人員状況

(H22.1.1~H22.12.31)

事故種別	月別	計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
計		63	26	4	3	5		3	4	2	5	2	3	6
火災		27	26					1						
交通事故		6		1		1							1	3
水難事故														
自然災害														
機械等による事故														
ガス・酸欠事故														
爆発事故														
建物による事故		25		3	2	3		1	4	1	5	2	2	2
その他	警戒出動													
	ドアの施錠等													
	その他の事故	5			1	1		1		1				1

### 事故種別傷病程度別状況

(H22.1.1～H22.12.31)

事故種別 区分	計	火	交	水	自	機よ	ガ	爆	建よ	そ
		災	通	難	然	械よ	ス・	発	る	の
		災	事	事	災	等	酸	事	物	他
		故	故	害	に	事	欠	故	に	故
出動件数	89	8	11						26	44
活動件数	45	8	6						25	6
救助人員	63	27	6						25	5
傷病程度別	死亡	8	2						6	
	重症	4	1						2	1
	中等症	12	1	4					6	1
	軽症	8		1					6	1
	負傷なし	31	24						5	2
	計	63	27	6					25	5

### 過去10年間の救助出動状況

(各年1.1～12.31)

事故種別 年別	計	火	交	水	自	機よ	ガ	爆	建よ	そ
		災	通	難	然	械よ	ス・	発	る	の
		災	事	事	災	等	酸	事	物	他
		故	故	害	に	事	欠	故	に	故
平成13年	86	30	15			3			4	34
平成14年	103	41	14	5		2			7	34
平成15年	93	42	20			1			2	28
平成16年	72	23	12			1			4	32
平成17年	75	33	7						7	28
平成18年	73	5	10			4			2	52
平成19年	75	12	15			1	1		3	43
平成20年	78	11	9			2	1			55
平成21年	80	10	9				1			60
平成22年	89	8	11						26	44

火災における救助活動は、平成18年より国表記入要領変更に伴い活動を行った件数の計上となった。

# その他の統計



## 過去10年間の災害等活動状況

平成22年中の災害等出動件数は439件で、前年(401件)に比べ38件の増加となっています。火災や救助出動のほか警報設備の誤作動による出動45件、警戒出動45件、火災に至らなかった事故出動42件、焼却火等出動21件など、市域で発生するあらゆる災害や事故に出動し、市民の「安全と安心」を守っています。

また、市域外への応援出動等も10件の出動となっています。

(各年1.1～12.31)

年別	災害区分	計	警戒出動及びその他の災害(事故)出動														救急	その後	航空機	自然災害	救助	市域外		
			火災	誤報	虚報	警報設備誤作動	警戒出動				火災に至らなかった建物等の燃焼				焼却火等の燃焼									
							油流出		ガス漏えい		建物	工物	雑草	その他	ゴミ	植木伐採屑							不法投棄	その他
							ガソリン	オイル	軽油	その他														
平成13年	375	69	14	39	8	27	4	4	5	7	4	3	10	8	9	11	55	5	86	7				
平成14年	381	78	23	3	24	8	27	7	4	4	1	1	5	3	6	9	8	1	8	37	1	103	20	
平成15年	378	100	16	4	23	8	20	1	4	5	1	6	2	6	2	7	9	6	6	40	8	93	11	
平成16年	428	62	14	10	43	9	27	6	3	7	1	12	1	4	5	5	10	17	16	41	5	40	72	18
平成17年	420	82	9	6	40	10	29	3	1	6	1	10	1	1	2	7	7	1	11	23	40	17	75	39
平成18年	393	102	11	2	40	7	17	3	5	3	1	11	1	1	2	7	11	10	25	19	29	4	73	10
平成19年	378	89	5	3	54	9	16	2	2	2	1	1	13	1	2	6	7	14	7	30	24	4	75	11
平成20年	393	85	14	5	40	6	24	6	4	5	1	1	10	3	1	4	27	12	9	12	25	11	78	10
平成21年	401	70	9	6	53	6	15	3	4	2	2	9	1	1	6	6	14	7	62	24	14	80	8	
平成22年	439	71	12	5	45	10	22	2	7	2	1	1	14	2	3	23	6	8	7	58	25	16	89	10

救急後方支援は、平成16年より統計処理する。

### 科目別・月別病院問い合わせ状況

(H22.1.1～H22.12.31)

種別 月別	外科	内科	小児科	耳鼻咽喉科	眼科	産婦人科	精神科	歯科	泌尿器科	その他	計
1月	88	123	16	10	7	6	2	10	1	2	265
2月	62	47	11	13	6	4	4	7	4	2	160
3月	83	61	16	5	5	5	1	5	2	3	186
4月	80	58	15	7	4	4	3	12	5	2	190
5月	102	68	11	12	10	8	2	7	2	1	223
6月	71	50	12	6	11	3	1	3	5	3	165
7月	81	71	15	8	10	3	1	4	5	5	203
8月	104	73	15	6	10	3	1	9	3	1	225
9月	98	47	12	4	11	3	1	5	5	1	187
10月	52	38	12	7	4	4		7	3	3	130
11月	75	39	9	5	7	2		7	2	2	148
12月	75	52	16	6	13	7		3	4		176
計	971	727	160	89	98	52	16	79	41	25	2,258

### 科目別・曜日別病院問い合わせ状況

(H22.1.1～H22.12.31)

曜日別 科目別	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	計
外科	370	60	89	78	108	87	179	971
内科	250	73	71	65	91	63	114	727
小児科	38	13	15	16	26	25	27	160
耳鼻咽喉科	33	11	9	7	13	7	9	89
眼科	28	6	8	7	20	10	19	98
産婦人科	22	1	6	3	6	2	12	52
精神科	3	1	1	3	3	2	3	16
歯科	26	11	8	4	7	4	19	79
泌尿器科	17	6	3	4	7	2	2	41
その他	13	4	1	1	3	1	2	25
計	800	186	211	188	284	203	386	2,258

祝日及び年末・年始(12/29～1/3)は、日曜日に含む。

科目別・時間別病院問い合わせ状況

(H22.1.1～H22.12.31)

科目別 時間別	外科	内科	小児科	耳鼻 咽喉科	眼科	産婦 人科	精神科	歯科	泌尿 器科	その他	計
0～1	37	35	5	5	5	1	1			2	91
1～2	17	31	3	2	1	6		3			63
2～3	14	22	3	4	1			2	1		47
3～4	4	24	1	2	1	3		2			37
4～5	11	10	3		2	1			1		28
5～6	8	11	3								22
6～7	14	18	3		1			1			37
7～8	22	20	5	1		2		1	3	1	55
8～9	25	23	3	4	4		1	2	1	1	64
9～10	28	22	2	1	6			2	2	2	65
10～11	34	23	4	1	2	3	1	3	1		72
11～12	36	15	2	3	1	2	1	3	6	1	70
12～13	28	14	3	3				3		3	54
13～14	41	27	10	3	4	3	1	6	5	1	101
14～15	60	21	5	1	5	1		2		1	96
15～16	51	27	5	1	2	5		2	1	1	95
16～17	51	29	8	4	9	1	1	5	1		109
17～18	62	31	8	4	6	4		10	4	2	131
18～19	79	46	18	6	6	3	2	4	1		165
19～20	90	54	13	10	18	6	1	5	2	4	203
20～21	79	54	13	10	11	2	2	5	4	3	183
21～22	83	66	21	11	10	2	3	4	5	3	208
22～23	58	55	12	7	2	2	1	10	1		148
23～24	39	49	7	6	1	5	1	4	2		114
計	971	727	160	89	98	52	16	79	41	25	2,258



# 消防団



## 伊丹市消防団のあゆみ

- 明 42(月日不詳) 伊丹消防組として、4部編成腕用ポンプを主体として発足する。
- 昭 18. 4. 1 手挽ポンプから自動車ポンプにと装備の近代化に移る。
- 昭 14. 4. 1 警防団令(勅令第20号)の公布により、従来の消防組を廃止して伊丹警防団と改称する。
- 昭 15.11.10 市制施行とともに旧稲野村警防団と併合する。
- 昭 22. 3. 1 神津村の合併とともにその警防団も併合する。
- 昭 22. 9. 1 消防団令(勅令第185号)の公布により、従来の警防団を伊丹消防団と改称する。
- 昭 22. 9. 3 1団3分団200名となる。  
(第1分団が旧伊丹、第2分団が稲野地区、第3分団が神津地区)
- 昭 23. 7. 1 消防組織法施行に伴い伊丹市消防団として自治体消防の体制を整えるに至る。
- 昭 26. 4. 1 第2分団に東野班を増設する。
- 昭 27. 4. 1 第2分団に南野班を増設する。
- 昭 28.10.30 第3分団に口酒井班を増設する。
- 昭 28.12. 1 第2分団を2分して第4分団を新設、同分団に西野班を増設する。
- 昭 28.12.22 消防団長(初代)に岸田吉太郎氏が任命される。
- 昭 29. 3.21 第2分団に千僧班を増設する。
- 昭 30. 4. 1 川辺郡長尾村南部地区の合併とともに同地区の荒牧・荻野各班を併合し、第5分団を新設し、また第4分団に寺本班を増設する。
- 昭 31. 4. 1 第5分団に鴻池班を増設する。
- 昭 31.12.20 第4分団に山田班を、また第5分団に西池班を増設する。
- 昭 32. 8. 1 第3分団に下河原班を増設し、5分団26ヶ班399名となる。
- 昭 37. 8.15 市の4ヶ年計画に基づく常備消防の拡充(西出張所の開設)により、地元昆陽・堀池班は解散する。
- 昭 37.12.28 消防団の再編成方針に基づき、手挽消防ポンプ所有班は解散し、1団5分団13ヶ班204名に縮小する。
- 昭 40. 2.13 消防署東出張所の開設により、地元森本・岩屋各班は解散する。
- 昭 41. 4. 9 消防署北出張所の開設により、地元鴻池・荒牧各班は解散する。
- 昭 45. 5. 1 消防署南出張所の開設により、地元御願塚・南野各班は解散する。
- 昭 45. 7. 1 組織を改正、これまでの班組織を分団組織に改め、1団7分団(内台、大鹿、北村、下河原、中野、池尻、東野)116名編成とする。
- 昭 47. 7. 1 指導員制を採用し、1団7分団118名編成とする。
- 昭 47.12.17 消防団本部を市内昆陽字一ツ樋9番地の2の新庁舎に移転、業務を開始する。
- 昭 48. 2.26 住居表示変更に伴い、消防団本部の所在地「伊丹市昆陽一ツ樋9番地の2」を、「伊丹市昆陽1丁目1番地」に改める。
- 昭 48.11. 1 従来からの消防団参与制度を「伊丹市消防団本部設置名称及び組織に関する規程」に規程化する。

- 昭 49. 6.26 東消防署北伊丹出張所の開設により、地元北村分団は解散。指導員を1名増員し、1団6分団103名編成とする。
- 昭 49. 6.26 地番整理に伴い、伊丹市消防団本部の所在地「伊丹市昆陽1丁目1番地」を「伊丹市昆陽1丁目1番地の1」に改める。
- 昭 53. 4.16 消防団長（2代目）に阪上貞雄氏が任命される。
- 昭 56. 4. 1 組織を改正し、1団6分団6班を1団6分団12班とし、階級編成を次のとおり改める。

	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員
旧	1	3	6	3	6	6	78
新	1	2	9	6	6	12	67

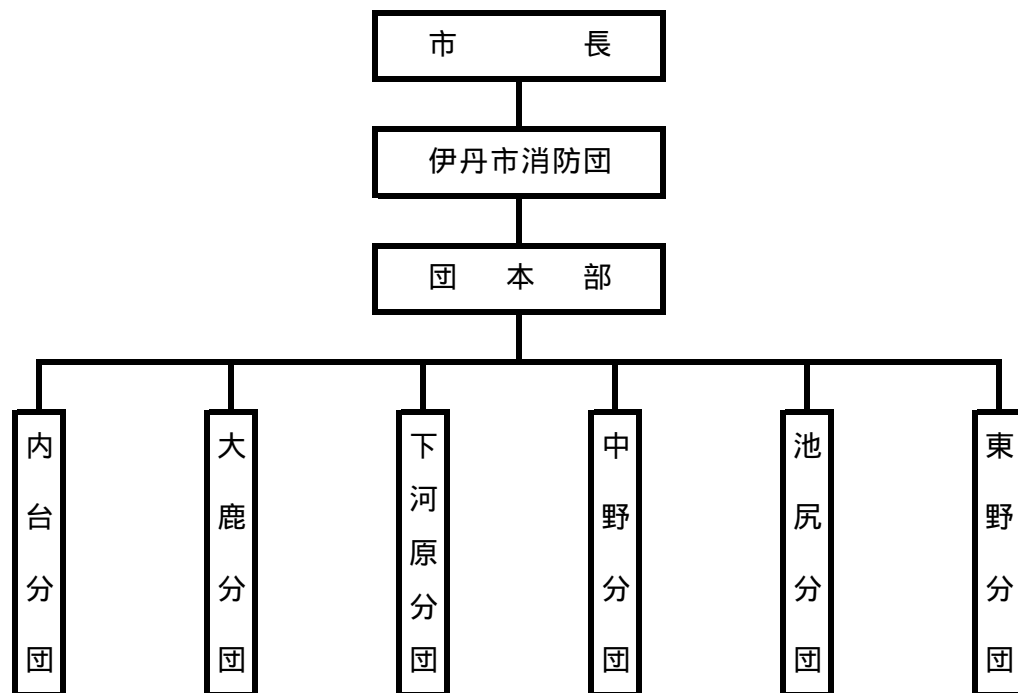
- 平 3.12. 7 東野分団車（小型動力ポンプ積載車）を普通ポンプ自動車（CD - 型）に更新する。
- 平 4.10.12 中野分団車（小型動力ポンプ積載車）を普通ポンプ自動車（CD - 型）に更新する。
- 平 5.10.26 池尻分団車（小型動力ポンプ積載車）を普通ポンプ自動車（CD - 型）に更新する。
- 平 8. 4. 1 消防団長（3代目）に倉橋文一氏が任命される。
- 平 8. 7. 1 伊丹市消防団名誉団長設置規則の制定により、阪上貞雄氏に名誉団長の称号を付与する。
- 平 8.11.22 下河原分団車（小型動力ポンプ積載車）を普通ポンプ自動車（CD - 型）に更新する。
- 平 9. 3.31 車載式消防無線機を全車（6台）設置整備完了する。
- 平 9.12.25 大鹿分団車（小型動力ポンプ積載車）を普通ポンプ自動車（CD - 型）に更新する。
- 平 10. 4. 1 消防団長（4代目）に岸谷義雄氏が任命される。
- 平 10.11. 6 内台分団車（小型動力ポンプ積載車）を普通ポンプ自動車（CD - 型）に更新する。
- 平 11. 9.24 池尻分団車庫を鉄骨造2階建に改築する。
- 平 13.12.10 中野分団車庫を鉄筋コンクリート造2階建に改築する。
- 平 16. 1. 1 消防団員の活動服が全国統一され、新基準による活動服を採用する。
- 平 17. 3. 5 大鹿分団車庫を木造平屋建に改築する。
- 平 18.12. 4 東野分団車（CD - 型）を更新する。
- 平 19.12. 5 中野分団車（CD - 型）を更新する。
- 平 19.12.16 下河原分団車庫を鉄骨造平屋建てコンクリート瓦葺に改築する。
- 平 20.12. 9 池尻分団車（CD - 型）を更新する。
- 平 22. 3.21 東野分団車庫を鉄骨造平屋建てセメント瓦葺に改築する。

## 消防団の概要

消防団は、郷土愛護の精神で地域に密着した消防機関として、市内に6分団が設置されています。

水火災等の災害時には、常備消防と連携して消防防災活動に当たるとともに、平常時には、研修及び各種訓練を実施して資質の向上に努めています。

当市においては、消防団施設の整備、団員の処遇改善を図り、魅力ある消防団づくりに取り組んでいます。



## 消防団の組織と現況

(H23.4.1現在)

階級別 所属	計 (人)	階 級 と 実 員							普 通 ポン プ 消 防 車	乗 用 車
		団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員		
定 数	103	1	2	9	6	6	12	67		
実員・車両	102	1	2	9	6	6	12	66	6	1
団 本 部	6	1	2	3						1
内 台 分 団	16			1	1	1	2	11	1	
大 鹿 分 団	16			1	1	1	2	11	1	
下 河 原 分 団	16			1	1	1	2	11	1	
中 野 分 団	16			1	1	1	2	11	1	
池 尻 分 団	16			1	1	1	2	11	1	
東 野 分 団	16			1	1	1	2	11	1	

### 階級別年齢構成

(H23.4.1現在)

階級別 年齢別	計	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員
計	102	1	2	9	6	6	12	66
20才未満								
20才以上～25才未満	4							4
25才以上～30才未満	4						1	3
30才以上～35才未満	12				1		2	9
35才以上～40才未満	14			1	1		1	11
40才以上～45才未満	26			1	1	3	2	19
45才以上～50才未満	22			3	2	2	2	13
50才以上～55才未満	10		1				4	5
55才以上～60才未満	4				1	1		2
60才以上	6	1	1	4				
平均年齢	42.7	63.0	57.0	53.0	44.5	46.8	42.7	40.0

### 階級別在職年数

(H23.4.1現在)

階級別 年数別	計	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員
計	102	1	2	9	6	6	12	66
5年未満	19						1	18
5年以上～10年未満	20			1	1	2	4	12
10年以上～15年未満	23			2	2		1	18
15年以上～20年未満	8						2	6
20年以上～25年未満	14					3	3	8
25年以上～30年未満	10		1	3	3	1	1	1
30年以上～35年未満	7	1		3				3
35年以上～40年未満	1		1					
40年以上								
平均在職年数	14.0	33.0	31.0	22.9	19.2	17.8	13.9	11.1

## 分団別等車両保有状況

(H23.4.1)

区 分団別	ポンプ 台数	登録番号	シャシー				ポンプ			使用年数	備考
			型式	年 式	燃 料	総排 気量 (cc)	級別	規格別	最 大 放水 量 (m <sup>3</sup> /min)		
団 本 部		神戸300 ま 27-65	トヨタ ハイス E-AE91	H13	ガ ソ リ ン	2.4	-	-	-	9年 5月	乗 用 車 (業 務 連 絡 車)
内 台 分 団	1	神戸800 さ 11-90	三菱KC- FE 568B改	H10	軽 油	4.56	A-2	CD- 型	2.0	12年 5月	普通消防 ポン プ 自 動 車
大 鹿 分 団	1	神戸88た 11-16	三菱KC- FE 568B改	H 9	軽 油	4.56	A-2	CD- 型	2.0	13年 4月	普通消防 ポン プ 自 動 車
下河原分団	1	神戸88そ 81-37	三菱KC- FE 538B改	H 8	軽 油	4.56	A-2	CD- 型	2.0	14年 5月	普通消防 ポン プ 自 動 車
中 野 分 団	1	神戸831 や 119	日野XZU 334M	H19	軽 油	4	A-2	CD- 型	2.3	3年 5月	普通消防 ポン プ 自 動 車
池 尻 分 団	1	神戸831 り 119	日野XZU 334M	H20	軽 油	4	A-2	CD- 型	2.3	2年 5月	普通消防 ポン プ 自 動 車
東 野 分 団	1	神戸831 む 119	日野XZU 334M	H18	軽 油	4	A-2	CD- 型	2.3	4年 4月	普通消防 ポン プ 自 動 車

## 消防団の活動状況

(H22.4.1～H23.3.31)

区 分	計	火 災	水 防	訓練等	警 戒	研修会 等
出動回数	120	8	0	53	45	14
出動人員	1390	64	0	865	266	195

訓練は随時各分団で実施しているものを除く。

---

平成 22 年版 **消 防 年 報**

---

平成 23 年 7 月 発行

編集発行 伊丹市消防局 消防総務課

〒664-0881

伊丹市昆陽 1 丁目 1 番地の 1

T E L 072(783)0123

F A X 072(783)4999

この冊子は、再生紙を使用しています。

火災発生などのお問い合わせは  
**消 防 災 害 情 報 案 内**  
**TEL 072(772)1191**

**消防局・西消防署**

〒664-0881  
伊丹市昆陽1丁目1番地の1  
(局)TEL 072(783)0123(代)  
FAX 072(783)4999  
(西)TEL 072(783)0124  
FAX 072(783)4986

**東消防署**

〒664-0836  
伊丹市北本町2丁目133番地  
TEL 072(772)0119(代)  
FAX 072(772)5119

**池尻出張所**

〒664-0027  
伊丹市池尻3丁目55番地  
TEL 072(778)0119  
FAX 072(778)0119

**神津出張所**

〒664-0842  
伊丹市森本2丁目142番地の1  
TEL 072(773)0119  
FAX 072(773)0119

**荒牧出張所**

〒664-0007  
伊丹市北野1丁目9番地  
TEL 072(781)0119  
FAX 072(781)9190

**南野出張所**

〒664-0883  
伊丹市南鈴原町2丁目1番地  
TEL 072(784)0119  
FAX 072(784)0971